Panasonic®

取扱説明書

パーソナルMDシステム

品番　RX-MDX85

34ページ

曲を消したり、タイトルをつけたり

カンタンMD編集！

44ページ

毎日のラジオ講座は

「留守録タイマー」で録り忘れを防ぐ！

保証書別添付

上手に使って上手に節電

5ページ

電源を切っても表示部が光る!?

「デモ機能」をOFFにしてください。

このたびは、パーソナルMDシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■ この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」(51～53ページ)はご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

■ 保証書は「お買い上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

RQT8007-1S

もくじ

22 ページ

録音使い分け！

長時間録音するなら「LP2 モード」「LP4 モード」、カーオーディオでも聞くなら「LPモードオフ」で録音など、

24 ページ

高速録音で快適・便利！

CD→MDへ、最大4倍速で録る！

30 ページ

お気に入りのテープをMDに残そう。

編集や曲探しも簡単に！

準備

ページ

4 準備 1.付属品の確認
2.リモコン
3.AM ループアンテナ
5 4.接続
5.デモ機能
6 時計を合わせる
各部のなまえ

聞く

8 CD を聞く
10 MD を聞く
12 MD の便利な聞きかた
・グループで聞く(グループプレイ)
・曲の出だしで探して聞く(イントロスキャン)
・曲名で探して聞く(タイトルサーチ)
14 CD/MD の便利な聞きかた
・好みの曲を予約順に聞く(プログラムプレイ)
・くり返し聞く(リピートプレイ)
・順不同に聞く(ランダムプレイ)
16 テープを聞く
18 ラジオを聞く
20 放送局を記憶させて聞く

録る

22 CD から MD に録る(通常録音/高速録音)
24 CD → MD の便利な録りかた
・高速録音について
・好みの曲を予約して録る(プログラム録音)
・１曲をねらい録りする(1-REC(レック))
・全曲を丸録りする(AUTO REC(オートレック))
26 CD/MD からテープに録る
28 CD/MD →テープの便利な録りかた
・好みの曲を予約して録る(プログラム録音)
・１曲をねらい録りする(1-REC(レック))
・全曲を丸録りする(AUTO REC(オートレック))
30 テープから MD に録る
32 ラジオから MD に録る/ラジオからテープに録る

編集

ページ

34 MD を編集する
・曲のグループを作る(グループ)
・曲を２つに分ける(ディバイド)
・曲と曲をつなげる(コンバイン)
36 ・曲を移動する(ムーブ)
・１曲ずつ消す(トラックイレース)
・全曲を消す(オールイレース)
38 MD にタイトルをつける
・CD を録音中にまとめてタイトルをつける
・録音した MD にディスクタイトルをつける
・録音した MD にグループ/トラックタイトルをつける
40 ・他の MD にタイトルをコピーする(タイトルステーション)
41 文字入力のしかた

タイマー

42 タイマーを使う
・おやすみタイマーを使う
・おめざめタイマーを使う
43 ・電源の切り忘れを防ぐ(オートオフ)
44 ・留守録タイマーを使う
・アラームタイマーを使う

使いこなす

46 ヘッドホンを使う
マイクを使う
47 音質・音場効果/便利な機能

必要なとき

48 CD について
MD について
49 テープについて
保管(CD/MD/テープ)
50 お手入れ
著作権について
51 安全上のご注意
53 主な仕様

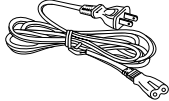
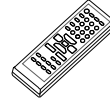
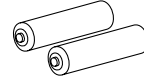
困ったとき

54 こんな表示が出たら
55 故障かな!?
57 Q&A(よくあるご質問)
58 保証とアフターサービス
裏表紙 さくいん

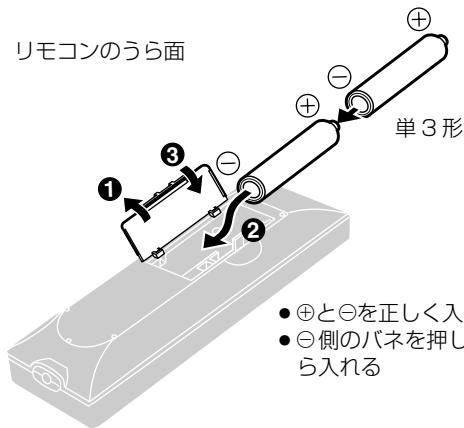
準備

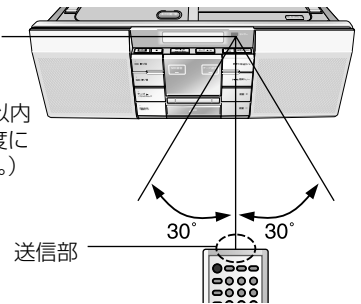
1　付属品の確認

□ AM ループアンテナ..................1 本
（品番 G0ZZ00002036）

□ 電源コード..................................1 本
（品番 RJA0012-K）

□ リモコン......................................1 コ
（品番 N2QAHB000049）

□ リモコン用乾電池（単 3 形）.....2 本

- 付属品の買い替えは、お買い上げの販売店にご相談ください。
  カッコ（　　）内は、買い替え時の品番です。（2004 年 12 月現在のものです。）
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。
  また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

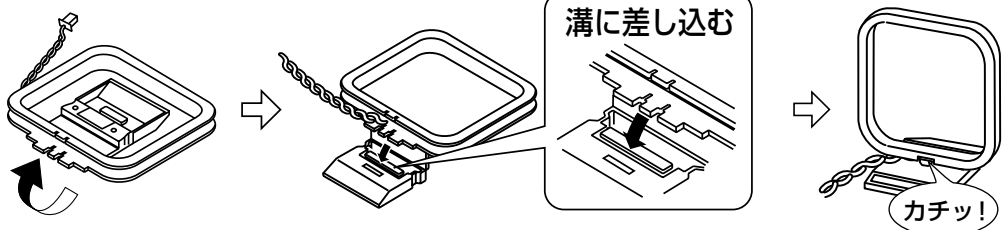
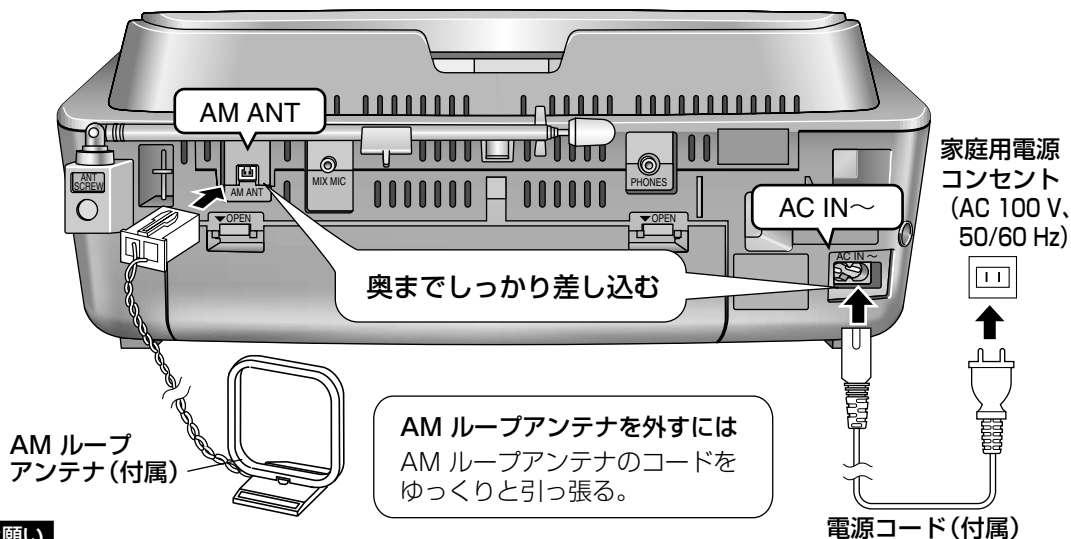
2　リモコン

乾電池（付属）を入れる

- ⊕と⊖を正しく入れる
- ⊖側のバネを押しながら入れる

リモコンの使いかた

■**使用上のお願い**
- 受光部とリモコンの間に障害物は置かない。
- 受光部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
- 受光部と送信部のほこりに注意。

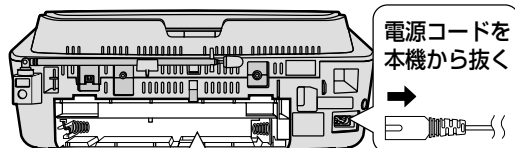
AM ループアンテナ（付属）を組み立てる

4 接続

AM ループアンテナを外すには
AM ループアンテナのコードを
ゆっくりと引っ張る。

お願い

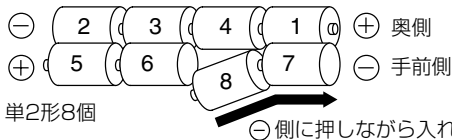
- **本機のスピーカーは、防磁設計ではありません。テレビやパソコンなどの近くに置かないでください。**
- 電源コードを抜くときは、本機の電源を切ってから抜いてください。

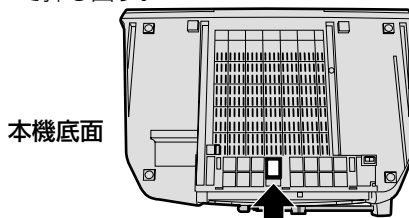
乾電池（別売り）で使う

- アルカリ乾電池：単２形（LR14）をご使用ください。マンガン乾電池は持続時間が短くなります。
- 電源コードを本機から抜くと乾電池電源に切り換わります。

電池ふたを開け、番号順に乾電池を入れる

⊖ 2 3 4 1 ⊕ 奥側
⊕ 5 6 8 7 ⊖ 手前側

単2形8個

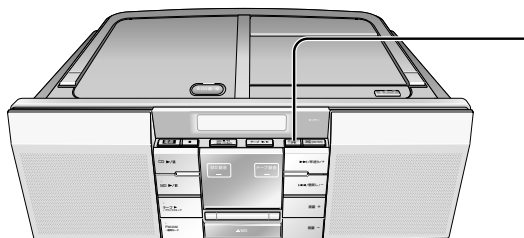
⊖側に押しながら入れる

■ 乾電池を取り出すときは

電池ふたを開け、本機底面の穴に指を入れて押し出す。

■ 乾電池の交換時期

表示部で“ ”が点滅したら、電池が消耗したことを表します。

■ 乾電池でお使いのときは

- リモコンで電源を入れることはできません。
- 電源「切」時には表示部に何も表示しません。
- タイマー再生／録音はできません。

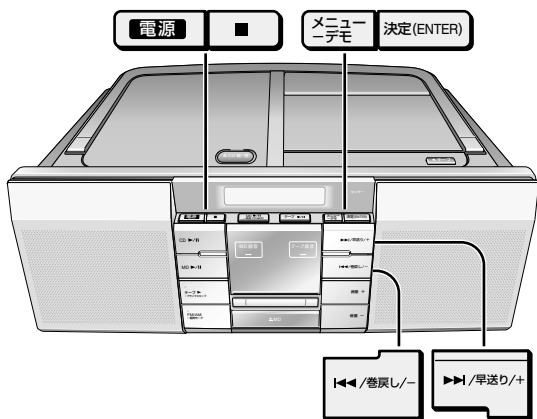
電源が「切」の状態で、表示部が右のように点灯し変化する（デモ機能）ときは、以下の設定を行ってください。

メニュー－デモ **デモ機能動作中に“DEMO OFF”と表示されるまで押したままにする**

DEMO OFF

押すたびに
DEMO OFF（切） ⇄ DEMO ON（入）

お知らせ

- 本機を乾電池で使うときは、デモ機能は働きません。デモ機能表示を確認するには、電源「入」時に上記の手順を行って“DEMO ON”にしてください。
- 本機の時計を合わせる（ ☞6ページ）と、デモ機能は自動的に「切」になります。

時計を合わせる

本機の時計は 24 時間表示です。
例：16 時 25 分（午後 4 時 25 分）に合わせる。

1 [電源] 押して電源を入れる

2 [メニュー－デモ] 押す

[⏮/巻戻し/－] [⏭/早送り/＋] 押して“CLOCK ADJUST”を選び

CLOCK ADJUST

[決定(ENTER)] 押す

3 10 秒以内

[⏮/巻戻し/－] [⏭/早送り/＋] 押して時計を合わせ

CLOCK 16：25

時、分を同時に合わせます。
押したままにすると、連続して変化します。

[決定(ENTER)] 押して時計をスタートさせる
時報などに合わせて押します。
約 1 秒で元の表示に戻ります。

■ **時計を確認するには**

[表示切換]を数回押して“CLOCK”を表示させ時計を確認する。

電源「切」時は、時計を合わせていれば、時計表示になります。（電源コードでご使用時のみ）
[タイマー設定/確認]を押すと表示部の照明が点灯し、見やすくなります。約 3 秒で自動的に消灯します。

■ **途中で解除する**

[■]を押す

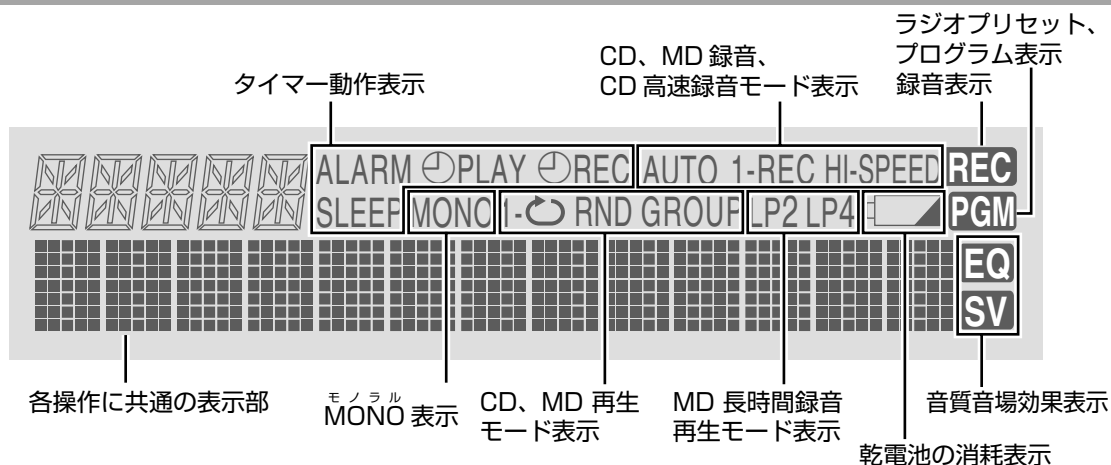
お知らせ

- 時計精度は室温において月差約 1 分です。定期的な時刻補正をおすすめします。
- 時計を合わせると、**デモ機能**（ ☞ 5 ページ）は自動的に「切」になります。
- 停電後、約 74 分以内に復帰した場合、時計表示全体が点滅します。この点滅は一度電源を入れると解除されます。このとき、時計が合っていることを確認してください。
- 乾電池で本機を使うときは、リモコンで電源を入れることはできません。

各部のなまえ

表示部

❹ などの数字は参照ページです。

時計を合わせる／各部のなまえ

本体

MD ●/❚❚ −高速 CD→MD（MD 録音、CD→MD 高速録音）ボタン ㉓ ㉛ ㉝

▲ CD 開/閉（CD ふた開閉操作部）❽

■（停止）、ファンクション（CD、MD、テープ）切換ボタン ❽ ㉒

電源ボタン ❻ ❽

ハンドル

CD ふた

表示部 ❻

FM ホイップアンテナ

テープ ●/❚❚（テープ録音）ボタン ㉗ ㉜

メニュー −デモボタン ❺ ㉓ ㉔

センサー（リモコン受光部）❹

決定（ENTER）ボタン ㉓ ㉔

テープホルダー

▲ テープ（テープホルダー開）ボタン ⓱

基本操作部ボタン ❾ ⓫ ⓱ ⓲

MD 録音ランプ ㉒ ㉚ ㉜

MD 挿入口

▲ MD 取り出しボタン ⓫

テープ録音ランプ ㉗ ㉝

▶▶❙/早送り/＋
❙◀◀/巻戻し/−
ボタン ❽ ❾ ⓳ ㉓

音量＋、−（音量調節）ボタン ❾ ⓫ ⓱ ⓳

リモコン

スリープ−オートオフボタン ㊷ ㊸

電源ボタン

文字入力/切換ボタン ㊳ ㊶

実行ボタン

タイトルサーチ（タイトル検索）ボタン ⓬

削除、プログラム/クリアーボタン ⓮ ㊶

音量 −、＋（音量調節）ボタン

プレイモードボタン ⓬ ⓮ ⓲

−/❙◀◀ 巻戻し/◢、▶▶❙/＋ ◣/早送りボタン ⓬ ⑳ ㊶

サウンドバーチャライザーボタン ㊼

音質ボタン ㊼

タイマー設定/確認ボタン ㊸ ㊺

表示切換ボタン ❾ ⓫ ㊼

1〜0、≧10（数字）文字入力ボタン ❾ ⓫ ㊶

基本操作部ボタン

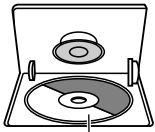
スキャン、グループボタン ⓬

❙◀◀、▶▶❙、∨ グループ ∧ ボタン ⓭

ポジションセレクターボタン ㊼

カウンターリセットボタン ⓰ ㉗ ㉝

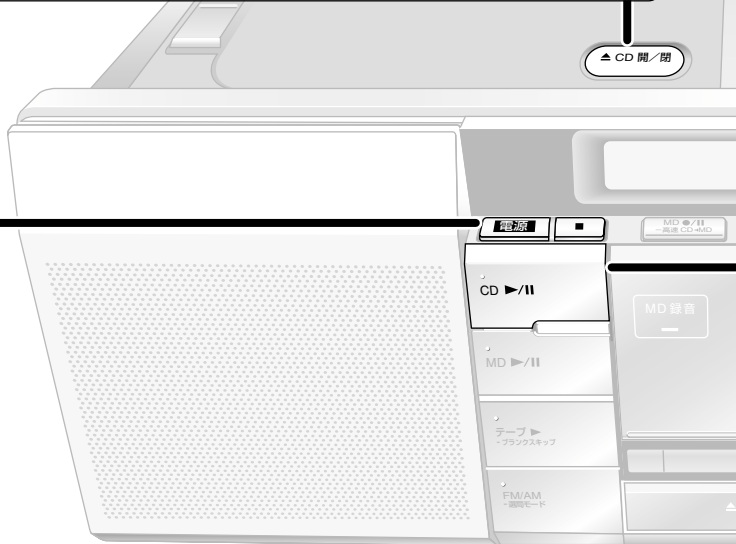
CD を聞く

1

電源

押して
電源を入れる

2

▲ CD開／閉

押して CD ふたを開け
CD を入れて
もう一度押してふたを閉じる

操作	ボタン		説明
途中で止める	■	押す	●停止すると総曲数、総再生時間が表示されます。 CD 14 68:25（総曲数　総再生時間）
一時停止する	CD ►/II	押す	●再開するには、もう一度押す。 ●一時停止中は、再生経過時間が点滅します。
曲を前後にとび越す（スキップ）	►►I／早送り／＋ I◄◄／巻戻し／−	押す	

お願い

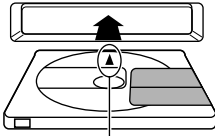
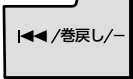
- CD を入れて CD ふたを閉めた直後や、再生中、一時停止中に、CD ふたを開けないでください。CD がターンテーブルから外れて、CD に傷がつく恐れがあります。
- CD ふたを開けるときは、ハンドルを倒した状態で開けてください。

はじめて CD を使用する場合は、48 ページ「CD について」をお読みください。

早送り/早戻しする（サーチ）	►►I/早送り/+ I◄◄/巻戻し/−	再生中または一時停止中に **聞きたい位置になるまで押したままにする**	
好みの曲から聞く（ダイレクトプレイ）	リモコン 1〜9、0、≧10	**押す**	●曲番 10 以上を選ぶには（例：24）≧10 → 2 → 4
残り時間などの情報を見る	リモコン 表示切換	**押す**	●押すたびに、表示される内容が切り換わります。
CD を取り出す	▲CD開/閉	停止中に **押す**	●CD ふたが開きます。

お知らせ

- 電源コードご使用時に、すでに CD が入っているときには、手順 **3** を行うと、自動的に電源が入り、再生が始まります。（ワンタッチプレイ）
- 乾電池でご使用時は、リモコンで電源を入れることはできません。

MD を聞く

途中で止める	■	押す	●停止すると総曲数、総再生時間が表示されます。 MD 14 68:25 総曲数 総再生時間
一時停止する	MD ►/II	押す	●再開するには、もう一度押す。 ●一時停止中は、再生経過時間が点滅します。
曲を前後にとび越す（スキップ）	►►I/早送り/+ I◄◄/巻戻し/−	押す	

MDLP（長時間ステレオ録音/再生）について

MD**LP** は音声圧縮技術によって長時間（2 倍または 4 倍）ステレオ録音、再生できる方式です。録音したときのモード（LP MODE OFF/LP2/LP4）に従って再生します。

MDLP で録音するには（ ☞ 22 ページ）

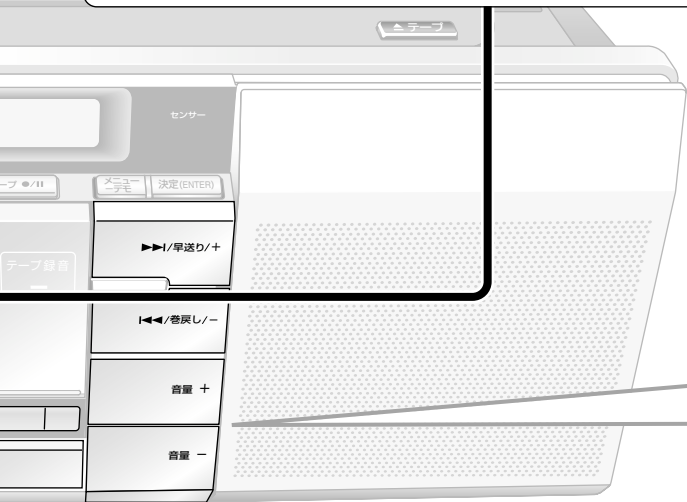
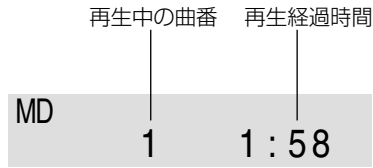
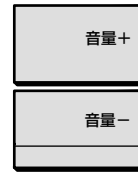
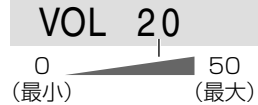
再生時には、表示部に次のように表示されます。

LP2 68:25

- 標準時間録音（ステレオ）した曲のとき：表示なし
- 2 倍長時間録音（ステレオ）した曲のとき：“LP2”
- 4 倍長時間録音（ステレオ）した曲のとき：“LP4”

はじめてMDを使用する場合は、48ページ「MDについて」をお読みください。

3

押す
1曲目から再生します。

音量を調節する

音量+
音量−

押して
調節する

VOL 20
0（最小） 50（最大）

早送り/早戻しする（サーチ）	►►I/早送り/+ I◄◄/巻戻し/−	再生中または一時停止中に **聞きたい位置になるまで押したままにする**
好みの曲から聞く（ダイレクトプレイ）	リモコン 1〜9, 0, ≧10	**押す** ● 曲番10以上を選ぶには（例：24） ≧10 → 2 → 4 ● 曲番100以上を選ぶには（例：235） ≧10 → ≧10 → 2 → 3 → 5
残り時間などの情報を見る	リモコン 表示切換	**押す** ● 押すたびに、表示される内容が切り換わります。
MDを取り出す	▲MD	**押す**

お知らせ

- 電源コードご使用時に、すでにMDが入っているときには、手順**3**を行うと、自動的に電源が入り、再生が始まります。（ワンタッチプレイ）
- 乾電池でご使用時は、リモコンで電源を入れることはできません。
- 他の機器で長時間モノラル録音したMDの曲を、本機で再生すると"MONO"が点灯します。

MD MONO 1 1:58

MD の便利な聞きかた

準備

① 電源を入れる。
② MD を入れる。(☞ 10 ページ)
③ [■] を押して“MD”を選ぶ。

グループで聞く (グループプレイ)

GROUP(グループ): 1 つのグループだけ聞く

GROUP REPEAT(グループリピート): 1 つのグループをくり返し聞く

まず、曲のグループを作ります。
(☞ 34 ページ)

1 [プレイモード] 停止中に押して

“GROUP”または“GROUP REPEAT”を選ぶ

1 つのグループだけ聞く

GROUP

1 つのグループをくり返し聞く

GROUP REPEAT

OFF → TRACK REPEAT → ALL REPEAT
↑ ↓
GROUP REPEAT ← GROUP ← RANDOM

- プログラム設定中は、“GROUP”、“GROUP REPEAT”を選べません。
- “GROUP”と“GROUP REPEAT”はグループ編集している MD でのみ表示されます。

曲の出だしで探して聞く (イントロスキャン)

各グループの先頭曲を約 10 秒間順番に再生します。

1 [グループ スキャン] 停止中に押す

GROUP SCAN

先頭曲の再生が始まります。
MD をグループ編集していないときは“NO GROUP”と表示し、元の表示に戻ります。

曲名で探して聞く (タイトルサーチ)

検索に使えるのは、カタカナ、アルファベット、数字、記号です。(最大 13 文字まで)

1 [タイトル サーチ] 停止中に押す

TITLE SEARCH

タイトル入力画面になります。

4 さらに曲を探すとき

[巻戻し/ −/◀◀] [/早送り ▶▶/+] 押す

前または次の候補の曲を検索します。

イントロスキャン

お知らせ

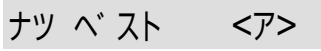
- プログラム、ランダムプレイ設定中 (☞ 14 ページ) は“ERROR”が表示され、スキャンできません。

2 ∨グループ∧ [⏮] [⏭] 押して
グループを選ぶ

3 [MD ▶/II] 押す

再生が始まります。

■ 解除する
停止中に、[プレイモード]を押して "OFF" を選ぶ。

■ グループを前後にとび越す(グループスキップ)
[⏮ ∨ グループ] または [⏭ グループ ∧] を押して、聞きたいグループを選ぶ。

2 押す

現在聞いている曲から続けて再生します。

■ 途中で解除する
[■] を押す。

■ 前後のグループのイントロを聞く
[⏮ ∨ グループ] または [⏭ グループ ∧] を押す。

2 タイトルを入力する
(☞ 41 ページ)

大文字、小文字やスペースなどは区別して検索されるので正確に入力します。

例：「ナツ　ベスト」

ナツ ベ スト　　<ア>

正確なタイトルがわからないときは、1 文字からでも検索できます。

3 実行 押す

検索が始まります。

TITLE SEARCH

該当する曲が見つかると

ナツ ベ スト

■ 途中で解除する
[■] を押す。

5 押す

検索した曲から再生します。

タイトルサーチ

お知らせ

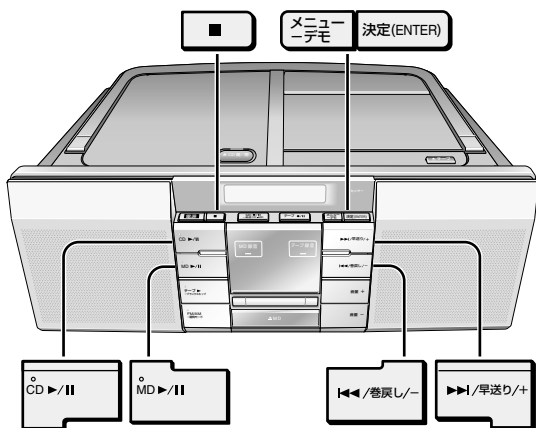
- 検索できるのはタイトルの先頭から 31 文字目までです。
- 前回入力したタイトルは記憶されています。不要なタイトルは、[削除 プログラム/クリアー] を押して消し、新しいタイトルを入力します。
- プログラム、ランダムプレイ設定中(☞14 ページ)は "ERROR" が表示され、タイトルサーチできません。
- グループプレイ設定中(☞左ページ)は、グループにされていない曲は検索されません。

聞く

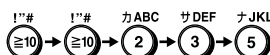
MDの便利な聞きかた

CD/MD の便利な聞きかた

準備

① 電源を入れる。
② CD/MD を入れる。（ ☞8、10 ページ）
③ ［■］を押して“CD”または“MD”を選ぶ。

数字ボタンでの選びかた

■ 曲番 10 以上を選ぶには
（例： 24）
≧10 → 2 → 4

■ 曲番 100 以上を選ぶには
（例：235）
≧10 → ≧10 → 2 → 3 → 5

好みの曲を予約順に聞く（プログラムプレイ）

最大 24 曲まで予約できます。

1 プログラム/クリアー［削除］ 停止中に押す

PGM
PROGRAM

くり返し聞く（リピートプレイ）

TRACK REPEAT（トラック リピート）：1 曲をくり返す
ALL REPEAT（オール リピート）：全曲をくり返す

1 プレイモード 停止中に押して“TRACK REPEAT”または“ALL REPEAT”を選ぶ

1曲をくり返す

TRACK REPEAT

全曲をくり返す

ALL REPEAT

OFF → TRACK REPEAT → ALL REPEAT
↑ （1-↻） （↻） ↓
GROUP REPEAT ← GROUP ← RANDOM

“GROUP”と“GROUP REPEAT”はグループ編集している MD でのみ表示されます。

順不同に聞く（ランダムプレイ）

各曲を 1 回ずつ順不同に再生します。

1 プレイモード 停止中に押して“RANDOM”を選ぶ

RND
RANDOM

OFF → TRACK REPEAT → ALL REPEAT
↑ ↓
GROUP REPEAT ← GROUP ← RANDOM

“GROUP”と“GROUP REPEAT”はグループ編集している MD でのみ表示されます。

プログラムプレイ

予約の途中で
- “PROGRAM FULL”と表示したら
  予約曲数が 24 曲を超えたことを示しています。これ以上は予約できません。
- “－－：－－”と表示したら
  予約時間が 250 分に達したことを示しています。ただし、続けて予約できます。

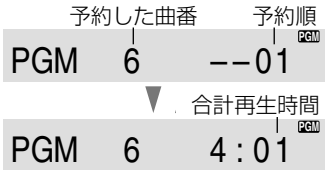
2 押して曲番を選ぶ

■ 曲番10以上／100以上を選ぶには
（☞左ページ）

予約した曲番　予約順

PGM　6　– –01

▼ 合計再生時間

PGM　6　4 : 01

この操作をくり返して、曲番を選ぶ

3 CD ▶/❚❚ または MD ▶/❚❚ 押す

予約曲を順に再生し、自動停止します。

■ **途中で止める**
［■］を押す。（予約内容は保持されます）

■ **解除する**
停止中に［削除 プログラム/クリアー］を押す。
- CDやMDを取り出したときも解除されます。
- CDでは、停電、電源プラグを外したとき、電池を外したときも解除されます。

■ **予約内容を確認する**
停止中に［–/⏮ 巻戻し/◢］［⏭/＋ ◣/早送り］を押す。
押すたびに、曲番と予約順が表示されます。

■ **予約を追加する**
“PGM”と表示している停止中に、数字ボタンを押して曲番を選ぶ。

2

1曲をくり返す

押して曲番を選ぶ
再生が始まります。

■ 曲番10以上／100以上を選ぶには
（☞左ページ）

全曲をくり返す

CD ▶/❚❚ または MD ▶/❚❚ 押す

再生が始まります。

■ **解除する**
［プレイモード］を押して“OFF”を選ぶ。

■ **再生中に操作する**
再生中に、手順 **1** の操作をする。
TRACK REPEATでは、聞いている曲がくり返し再生されます。

■ **好みの数曲をくり返す（プログラムリピート）**
① プログラムプレイで再生を始める。（☞左ページ）
② ［プレイモード］を押して“ALL REPEAT”を選ぶ。

本機で操作する

① ［メニュー ーデモ］を押す。［⏮/巻戻し/–］［⏭/早送り/＋］を押して“PLAY MODE”を選び［決定（ENTER)］を押す。
② ［⏮/巻戻し/–］［⏭/早送り/＋］を押して“TRACK REPEAT”または“ALL REPEAT”を選び［決定（ENTER)］を押す。
③ “TRACK REPEAT”を選んだ場合のみ：［⏮/巻戻し/–］［⏭/早送り/＋］を押して曲番を選ぶ。
④ ［CD ▶/❚❚］または［MD ▶/❚❚］を押す。

再生中に行う場合は、手順③、④は不要です。

■ **解除する**
上記手順①の後、手順②で“OFF”を選び［決定（ENTER)］を押す。

2

または　押す

再生が始まります。

■ **解除する**
停止中に［プレイモード］を押して“OFF”を選ぶ。

本機で操作する

① 停止中に［メニュー ーデモ］を押す。［⏮/巻戻し/–］［⏭/早送り/＋］を押して“PLAY MODE”を選び［決定（ENTER)］を押す。
② ［⏮/巻戻し/–］［⏭/早送り/＋］を押して“RANDOM”を選び［決定（ENTER)］を押す。
③ ［CD ▶/❚❚］または［MD ▶/❚❚］を押す。

■ **解除する**
停止中に、上記手順①の後、手順②で“OFF”を選び［決定（ENTER)］を押す。

お知らせ

- CDでのサーチは、再生中の曲の中のみです。

ランダムプレイ

お知らせ

- ランダムプレイ中は、前の曲にスキップできません。
- サーチは、再生中の曲の中のみです。
- プログラムプレイと同時にはできません。
- ランダムプレイ中は、リピートプレイはできません。

テープを聞く

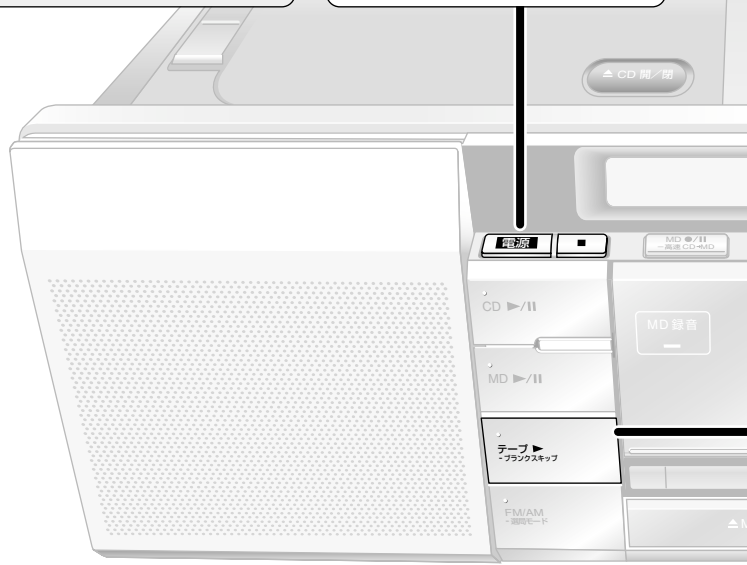
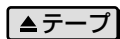
準備

再生できるテープ
（※ハイポジションテープまたはメタルポジションテープは、特性を十分にいかすことができませんが再生することはできます。）

NORMAL POSITION/TYPE Ⅰ（ノーマルポジション）	○
HIGH POSITION/TYPE Ⅱ ※（ハイポジション）	○
METAL POSITION/TYPE Ⅳ ※（メタルポジション）	○

● テープのたるみを取る。

1

押して
電源を入れる

途中で止める	■	押す	TAPE STOP 004
早送り／巻戻しする	▶▶|／早送り／＋ |◀◀／巻戻し／－	停止中に **押す**	
テープカウンターをリセットする	リモコン カウンターリセット	押す	TAPE STOP 000
テープを取り出す	▲テープ	押す	

お知らせ
- 電源コードご使用時に、すでにテープが入っているときには、手順 **3** を行うと、自動的に電源が入り、再生が始まります。（ワンタッチプレイ）
- 乾電池ご使用時は、リモコンで電源を入れることはできません。
- テープのうら面を再生するには、テープを取り出して表裏を入れ換えてください。

TPS 機能：
TPS 機能は、曲間の約４秒間の無音部を検出して働くため、以下のような場合、正しく動作しないことがあります。
- 曲間が短い
- 曲間に雑音がある
- 曲中に無音に近い部分がある

はじめてテープを使用する場合は、49ページ「テープについて」をお読みください。

2

▲テープ 押して

テープを入れて

手でテープホルダーを閉める

おもて面（再生面）

ガイドに沿って入れる

3

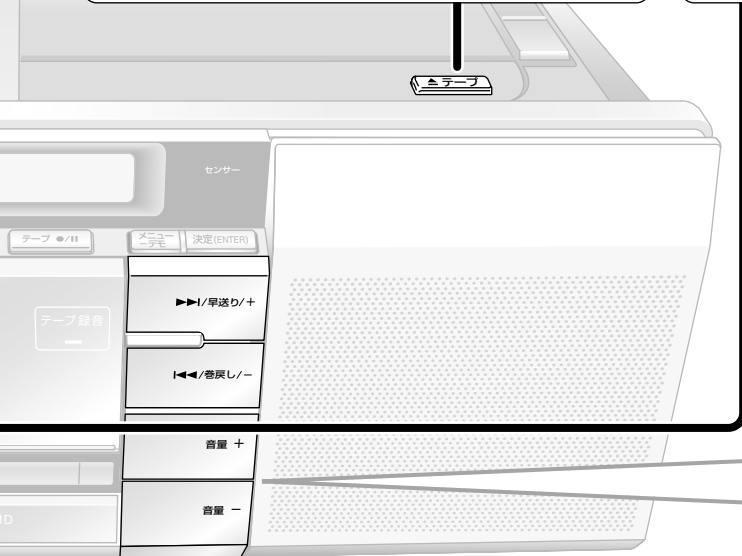
テープ▶ −ブランクスキップ

押す

再生が始まります。

テープカウンター

TAPE PLAY 125

おもて面の再生が終了するとテープは停止します。

音量を調節する

音量＋ / 音量−

押して

調節する

VOL 20

0（最小） 50（最大）

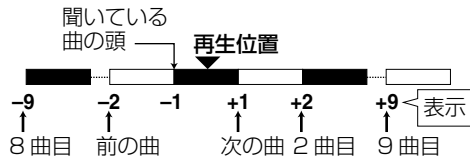
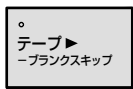
曲を前後にとび越す

（Tape Program Sensor-TPS 機能）

再生中に

押す

（とび越す曲数分）

●次曲方向9曲、前曲方向8曲までとび越し可能です。

曲間（無音部）をとばして聞く（ブランクスキップ）

“B.SKIP PLAY”と表示されるまで

押したままにする

B. SKIP PLAY

押すたびに

B.SKIP PLAY ←→ B.SKIP OFF(解除)

ブランクスキップ機能：

再生中、約8秒以上の無音状態が続くとテープを早送りにして次の曲の頭から再生します。

- 曲間に雑音があるとき、曲中に無音に近い部分があるときには、正しく動作しないことがあります。
- 全体が無音のブランクテープではブランクスキップしません。
- ブランクスキップ再生中にMD録音をするとブランクスキップは解除されます。

ラジオを聞く

準備

- AM ループアンテナを接続する。
  (☞ 4、5 ページ)

テレビ音声(1 ～ 3 チャンネルのみ)は FM で受信します。

1

電源

押して
電源を入れる

2

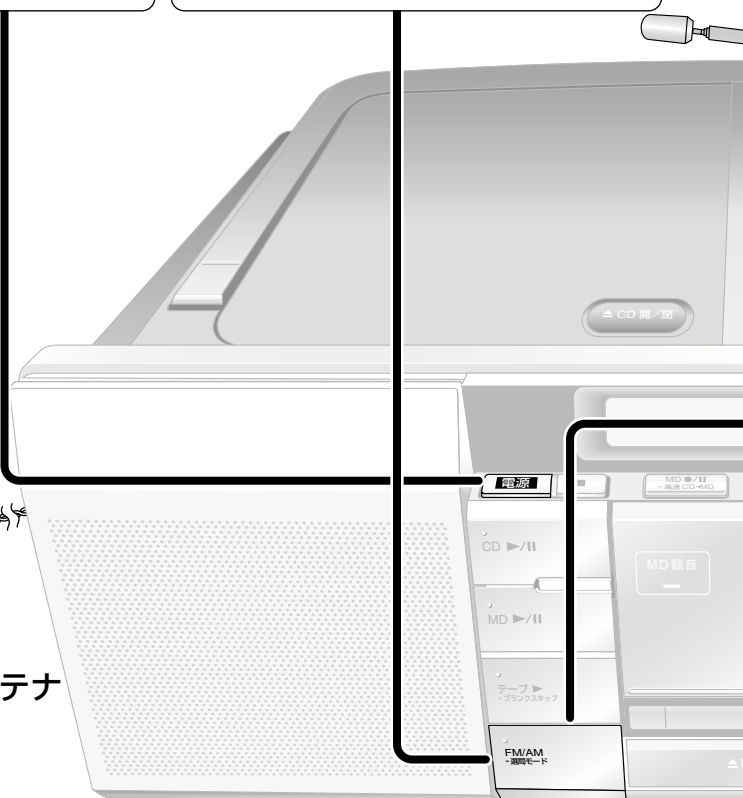
FM/AM
ー選局モード

押して
“FM” または “AM” を選ぶ

押すたびに　FM ⇄ AM

RADIO
F M　76.0 MHz

つないだあと、実際に放送を受信してみて、雑音の少ない位置に置きます。

AM ループアンテナ

自動選局する
(オートチューニング)

MANUAL MODE(マニュアル　モード)時に周波数が動き始めるまで
押したままにして、動き始めたら指を離す

RADIO
F M　80.2 MHz

- 放送を受信すると、自動停止します。
- 好みの放送局を受信するまで、同じ操作をくり返します。

FM ステレオ放送で雑音が多いときは(受信モード)

リモコン

押して “MONO” を選ぶ

MONO

押すたびに
MONO ⇄ 消灯 (AUTO STEREO)
(強制モノラル)　(自動判別)

- モノラル音声になりますが、雑音が減って聞きやすくなります。(FM 76.0 ～ 90.0 MHz 受信時のみ)
- 通常は “MONO” を消灯させておいてください。

3

押したままにして

“MANUAL MODE”を選ぶ

MANUAL　MODE

押すたびに

MANUAL MODE（マニュアル モード）：周波数で選ぶとき

↕

PRESET MODE（プリセット モード）：エリアバンク（ 20ページ）などで記憶させたチャンネルを選ぶとき

4

▶▶I/早送り/＋

I◀◀/巻戻し/−

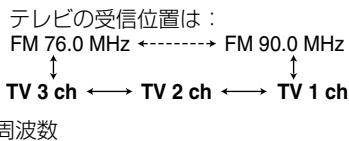
押して

周波数を合わせる

テレビの受信位置は：

FM 76.0 MHz ←→ FM 90.0 MHz

TV 3 ch ←→ TV 2 ch ←→ TV 1 ch

周波数

RADIO
F M　80.2 MHz

FM ホイップアンテナ

音量を調節する

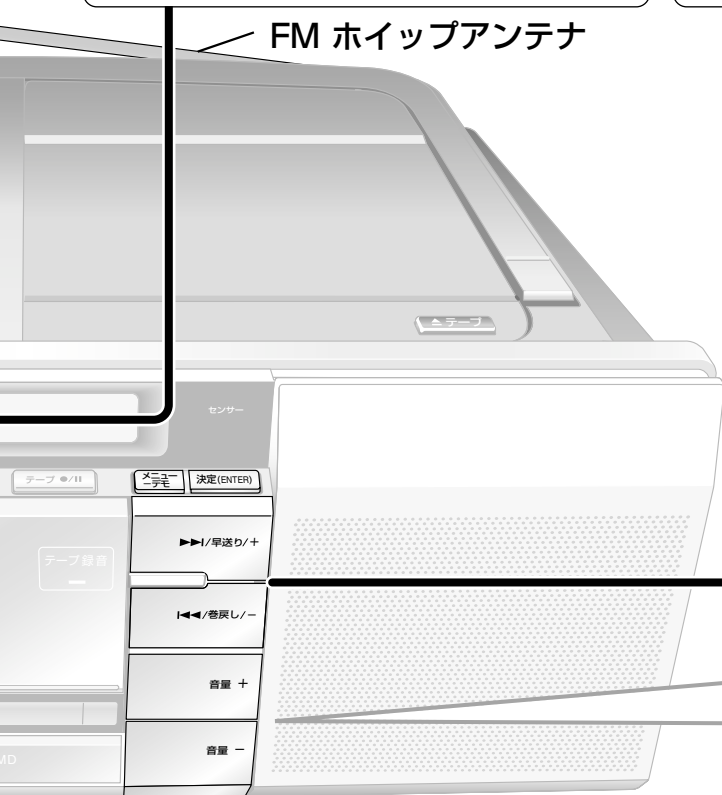
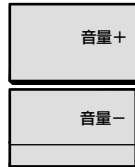
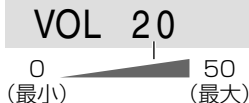
音量＋

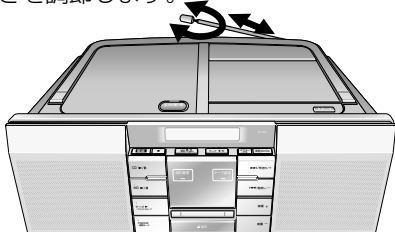
音量−

押して

調節する

VOL　20

0（最小）　50（最大）

FMの受信状態がよくないとき

本機を窓際などに置き、FM ホイップアンテナの長さと向きを調節します。

AMの受信状態がよくないとき

本機を窓際などに置き、AM ループアンテナの位置と向きを調節します。

本機で受信モードを選ぶ

① [メニュー ーデモ]を押す。[I◀◀/巻戻し/−] [▶▶I/早送り/＋]を押して“PLAY MODE”を選び、[決定 (ENTER)]を押す。
② [I◀◀/巻戻し/−] [▶▶I/早送り/＋] を押して“AUTO STEREO”または“MONO”を選び、[決定 (ENTER)]を押す。

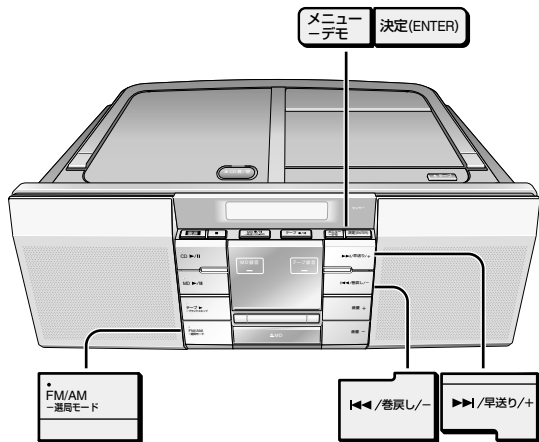
お知らせ

- AM とテレビの音声はモノラルです。
- 本機の TV 受信回路は、FM 受信回路と兼用しているため、2 または 3 ch に FM 放送が混信することがあります。
- AM 受信中にテープを取り出したり、テープの録音操作（録音、停止や一時停止）を行うと音がとぎれます。
- 乾電池ご使用時は、リモコンで電源を入れることはできません。

放送局を記憶させて聞く

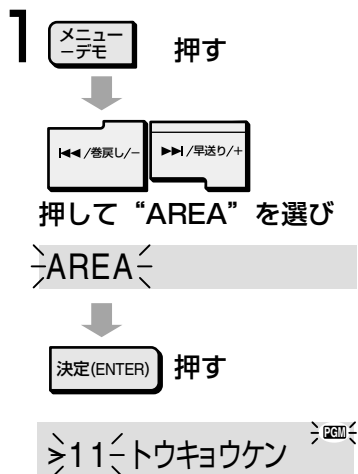
- 放送局をチャンネルに記憶させておくと、簡単な操作で聞くことができます。
- FM、AM とも、12 局ずつ記憶させることができます。

準備

① 電源を入れる。
② [FM/AM －選局モード]を押して“FM”または“AM”を選ぶ。
エリアバンクでは、FM、AM どちらを選んでいてもかまいません。

記憶させる

お住まいの地域を選択する（エリアバンク）

エリア番号を選択するだけで、その地域で受信できる主な FM、AM の放送局を一度に記憶できます。

1 [メニュー－デモ] 押す
↓
[⏮/巻戻し/－] [⏭/早送り/＋]
押して“AREA”を選び
↓
[決定(ENTER)] 押す

好みの放送局を記憶する（マニュアルメモリー）

チャンネルに、好みの放送局を記憶させることができます。

1 リモコン
巻戻し/ /早送り
押して
周波数を合わせる

記憶させた放送局を聞く

記憶させた放送局を聞く

1

押したままにして
“PRESET MODE”を選ぶ

PRESET MODE

押すたびに
MANUAL MODE
↕
PRESET MODE

エリアバンク（2004 年 12 月現在）

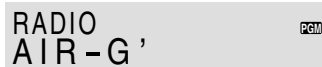
エリア番号	地域名	エリア番号	地域名
1	札幌	11	東京圏（東京、横浜、千葉、さいたま）
2	青森	12	甲府
3	秋田	13	松本
4	盛岡	14	静岡
5	山形	15	名古屋圏（名古屋、岐阜）
6	仙台	16	津
7	福島	17	新潟
8	宇都宮	18	富山
9	水戸	19	金沢
10	前橋	20	福井

2

押して
エリア番号（☞ 下記）を選び

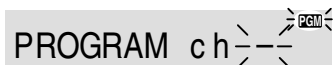
押す

チャンネルに放送局が記憶されます。

RADIO
AIR-G'

エリアに記憶されている最初の放送局名が表示されます。

2

リモコン

押す

3

10秒以内

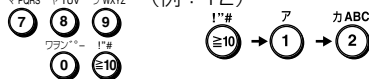
リモコン

押して
チャンネルを選ぶ

■チャンネル 10 以上を選ぶには
（例：12）
≧10 → 1 → 2

PROGRAM ch12

選んだチャンネルに放送局が記憶されます。

続けて記憶させるときは、手順 1 に戻る

エリア番号	地域名	エリア番号	地域名
21	大津	31	松山
22	奈良	32	高知
23	和歌山	33	福岡
24	大阪圏（大阪、神戸、京都）	34	北九州
		35	佐賀
25	鳥取	36	長崎
26	松江	37	大分
27	広島	38	熊本
28	山口	39	宮崎
29	高松／岡山	40	鹿児島
30	徳島	41	那覇

エリアバンク

お知らせ

- エリアバンクで放送局を記憶させた後は、自動的に"PRESET MODE"（" PGM " が点灯）になります。（☞19 ページ）

記憶させた放送局を聞く

お知らせ

- エリアバンクで記憶させたチャンネルを選ぶと放送局名が表示されます。

聞く

放送局を記憶させて聞く

CD から MD に録る（通常録音/高速録音）

準備

- 電源を入れる。
- 録音用 MD を入れる。
  (☞ 10 ページ)

1 曲も録音されてないときは、表示部に“BLANK DISC”と表示されます。

1

押して CD のふたを開け、

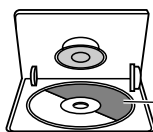
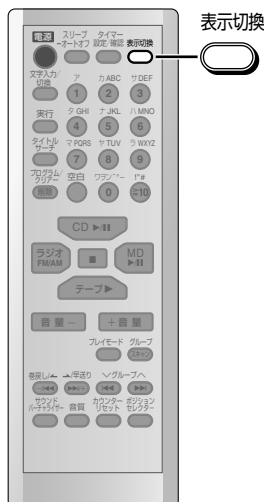
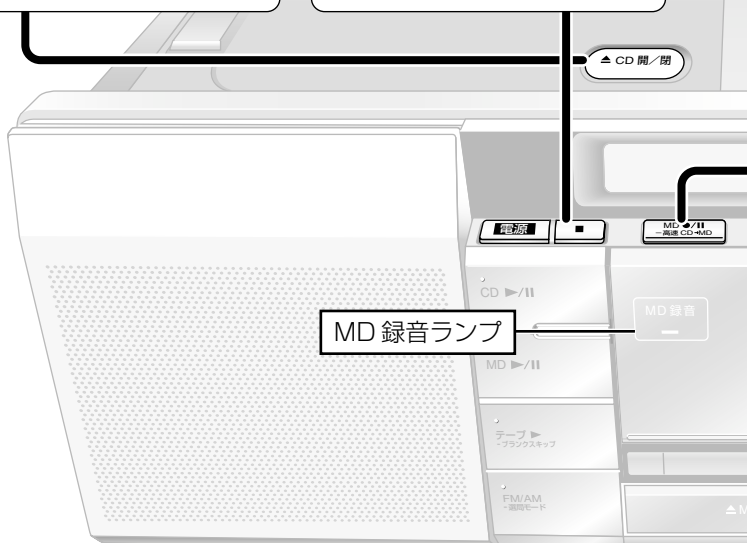
CD を入れて

もう一度押してふたを閉じる

2

押して

“CD”を選ぶ

```
CD
---- C D ----
```

LP モードについて

LP モードを設定すると、MD に長時間ステレオ録音（2 倍/4 倍）できます。

LP MODE OFF（エルピー モード オフ）：標準時間録音モード
LP2 MODE（エルピーツー モード）：2 倍長時間録音モード
LP4 MODE（エルピーフォー モード）：4 倍長時間録音モード

LP モードと録音可能時間

	標準	2 倍 (LP2)	4 倍 (LP4)
74 分の MD ディスク	74 分	148 分	296 分
80 分の MD ディスク	80 分	160 分	320 分

- 録音中は、LP モードを変更できません。
- 本機で 2 倍長時間録音 (LP2) または 4 倍長時間録音 (LP4) した曲は、MD**LP** に対応した機器以外では再生できません。
- MD**LP** に対応していない機器で再生すると、曲タイトルの先頭に“LP :”と出て、無音で再生されます。
- LP4 MODE は、特殊な圧縮方式によって、長時間のステレオ録音を実現しているため、ごくまれに雑音が録音されることがあります。音質を重視する録音を行うときは、LP MODE OFF または LP2 MODE をおすすめします。
- **カーオーディオが、MDLP に対応していないときは、標準モード (LP MODE OFF) で録音してください。**

CD-R/RW から録音するとき

CD-R/RW から録音するときに、“SCMS、CAN NOT COPY”と表示されたらアナログ録音してください。ただし、**高速録音**(☞ 24 ページ) はできません。

■ アナログ録音をする

① [■] を押して“CD”を選ぶ。
② [メニュー−デモ] を押す。[|◀◀/巻戻し/−] [▶▶|/早送り/＋] を押して“ANALOG-REC”を選び、[決定 (ENTER)] を押す。
③ [|◀◀/巻戻し/−] [▶▶|/早送り/＋] を押して“ANALOG REC?”を選び、[決定 (ENTER)] を押す。
④ [MD ●/❚❚ −高速 CD→ MD] を押す。
録音が始まります。録音が終わると、アナログ録音設定は、自動的にデジタル録音設定に戻ります。

はじめて MD を使用する場合は、48 ページ「MD について」をお読みください。

3

[メニュー－デモ] 押す

[▶▶|/早送り/+] [|◀◀/巻戻し/−] 押して"LP MODE"を選び

LP MODE

[決定(ENTER)] 押す

4

[▶▶|/早送り/+] [|◀◀/巻戻し/−] 押して MD の録音時間(LP モード)を選び

（☞ 左ページ「LP モードについて」）

LP2 MODE

押すたびに

LP MODE OFF ⟷ LP2 MODE → LP4 MODE

[決定(ENTER)] 押す

5

通常録音

[MD ●/❚❚ −高速 CD→MD] 押す

高速録音

"HIGH-SPEED" と表示されるまで押したままにする

（☞ 24 ページ「高速録音について」）

MD 録音ランプが点灯し、録音が始まります。

例：通常録音

CD 1 0:07

CD の再生が終わると、MD も自動停止します。

途中で止める	[■]	押す	● "UTOC Writing"の点滅後に録音が停止します。 UTOC Writing
残り時間などの情報を見る	リモコン 表示切換	押す	● 押すたびに、表示される内容が切り換わります。 MD Rem 25:30
一時停止する	[MD ●/❚❚ −高速 CD→MD]	押す	● 再開するには、もう一度押す。 ● 録音された音がとぎれます。 ● トラックマークがひとつ付きます。
気に入った曲をすぐ録音する（追っかけ録音）	[MD ●/❚❚ −高速 CD→MD]	CD 再生中に押す	● 曲の初めに戻って録音し、最後の曲まで録音すると、MD は自動停止します。 ● 曲の途中から録音したい場合は、CD を一時停止してから [MD ●/❚❚ −高速 CD → MD] を押す。 ● 1 曲だけ録音するには「1 曲をねらい録りする」（☞ 24 ページ手順 **1**、**2**）で"1 - REC?"を選んでおいてください。

お願い

● CD を入れて CD ふたを閉めた直後や、録音中、一時停止中に、CD ふたを開けないでください。CD がターンテーブルから外れて、CD に傷がつく恐れがあります。
● CD ふたを開けるときは、ハンドルを倒した状態で開けてください。

お知らせ

● 録音レベルは自動的に設定されます。音量や音質を変えても、録音には影響しません。
● 本機で長時間モノラル録音はできません。
● 乾電池の消耗による録音時のトラブルを防ぐため、電源コードか新しい乾電池のご使用をおすすめします。

CD→MD の便利な録りかた

準備

① 電源を入れる。
② 録音用 MD を入れる。（☞ 10 ページ）
③ MD の録音時間（LP モード）を変更する。（☞ 23 ページ手順 **3**、**4**）
④ CD を入れる。（☞ 22 ページ）
⑤ [■]を押して“CD”を選ぶ。

高速録音について

CD から MD に最大 4 倍速で録音できます（☞ 22 ページ、下記）。74 分のディスクなら、約 23 分で録音が完了します。ディスクや条件によって、最大 4 倍速にならないときや、高速録音できない場合があります。高速録音できない場合は、通常録音してください。

※ **プログラム、リピート、ランダムなどの設定中は高速録音できません。解除してください**（☞ 14 ページ）。（“CAN NOT REC”と表示されます。）

進行状況 ── ○○% 12　45：00（CD、LP2、HI-SPEED REC）

高速録音で、全曲の録音が終了すると停止します。
確認音（ビープトーン）が約 10 秒鳴ります。
確認音は [決定（ENTER）] などを押して止めます。

好みの曲を予約して録る（プログラム録音）

1 録音したい曲をプログラム予約する

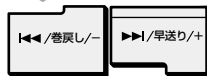
（☞ 14 ページ「好みの曲を予約順に聞く（プログラムプレイ）」手順 **1**、**2**）

1 曲をねらい録りする（1-REC）

高速録音可能

1 [メニュー ーデモ] 押す

↓

[⏮/巻戻し/ー] [⏭/早送り/＋] 押して“REC MODE”を選び

↓ REC　MODE

[決定(ENTER)] 押す

全曲を丸録りする（AUTO REC）

高速録音可能

CD の全曲を MD に録音します。
● 録音前に全曲入るかを確認できます。
● MD に録音された全曲はひとつのグループになります。

1 [メニュー ーデモ] 押す

↓

[⏮/巻戻し/ー] [⏭/早送り/＋] 押して“REC MODE”を選び

↓ REC　MODE

[決定(ENTER)] 押す

共通の項目

■ 途中で止める
[■] を押す。（AUTO REC は解除されます）

お知らせ

● 乾電池の消耗による録音時のトラブルを防ぐため、電源コードか新しい乾電池のご使用をおすすめします。

高速録音について

お知らせ

● 高速録音中は一時停止できません。
● 高速録音時は音声は聞こえません。音量を調節すると“MUTING”と表示されます。
● 録音終了時の確認音の音量は調節できません。
● CD によっては、録音時間に誤差が生じる場合があります。

プログラム録音

お知らせ

● プログラム録音は、曲と曲の空きが少し多くなります。このため、MD では“ゼンキョク REC カノウ”と表示されても全曲録音できないことがあります。
● プログラム録音中は、録音を一時停止できません。

■確認音（ビープトーン）の切/入を切り換える

①［メニュー－デモ］を押す。［|◀◀/巻戻し/－］［▶▶|/早送り/＋］を押して“BEEP MODE”を選び、［決定(ENTER)］を押す。

②［|◀◀/巻戻し/－］［▶▶|/早送り/＋］を押して“BEEP ON”または“BEEP OFF”を選び、［決定(ENTER)］を押す。
BEEP ON（入）⇄ BEEP OFF（切）

高速録音の制限について

本機の高速録音は、著作権保護を目的としたコピー管理システムを採用しているため、次のような制限があります。

続けて24枚まで録音できます

● 高速録音を途中で止めた後、約74分以内に、それぞれ異なる24枚のCDを高速録音できますが、25枚目の高速録音はできません。

高速録音終了後、約74分間は、同じCDを高速録音できません

高速録音しようとして“PLEASE WAIT、WAIT ○○ min.”と表示されたら○○分待ってからもう一度高速録音するか、通常録音（☞22ページ）してください。

● 録音を途中で止めたときでも、続けて同じCDは高速録音できません。（通常の録音はできます。）
● メモリーをリセット（初期化）（☞56ページ）しても、約74分間は、高速録音できません。

全曲を丸録りする（AUTO REC）

2 ［メニュー－デモ］押す

押して“REC MODE”を選び

REC MODE

［決定(ENTER)］押す

3 ［|◀◀/巻戻し/－］［▶▶|/早送り/＋］押して“AUTO REC?”を選び

AUTO REC?

［決定(ENTER)］押す

MD：ゼンキョクRECカ

● MDに全曲入らないときは、録音できない曲番と録音できる曲数が表示されます。
● 録音できない曲番を再確認するには、リモコンの［表示切換］を押してください。

4 ［MD ●/II －高速 CD→MD］押す

MD録音ランプが点灯して録音が始まり、終了すると停止します。
（AUTO RECは解除されます）

1曲をねらい録りする（1-REC）

2

押して“1-REC?”を選び

1－REC?

［決定(ENTER)］押す

3

押して曲を選ぶ

4 ［MD ●/II －高速 CD→MD］押す

高速録音のときは“HI-SPEED REC”が点灯するまで押したままにする

MD録音ランプが点灯して録音が始まり、終了すると停止します。

全曲を丸録りする（AUTO REC）

2

押して“AUTO REC?”を選び

AUTO REC?

［決定(ENTER)］押す

MD：ゼンキョクRECカ

● MDに全曲入らないときは、録音できない曲番と録音できる曲数が表示されます。
● 録音できない曲番を再確認するには、リモコンの［表示切換］を押してください。

3 ［MD ●/II －高速 CD→MD］押す

高速録音のときは“HI-SPEED REC”が点灯するまで押したままにする

MD録音ランプが点灯して録音が始まり、終了すると停止します。
（AUTO RECは解除されます）

1曲をねらい録りする（1-REC）

お知らせ

1-RECは自動的に解除されません。
録音が終了しても、1-RECは自動的に解除されません。
解除するには下記を行います。

①［メニュー－デモ］を押す。［|◀◀/巻戻し/－］［▶▶|/早送り/＋］を押して“REC MODE”を選び、［決定(ENTER)］を押す。
②［|◀◀/巻戻し/－］［▶▶|/早送り/＋］を押して、“MANUAL REC?”を選び、［決定(ENTER)］を押す。

全曲を丸録りする（AUTO REC）

お知らせ

● 丸録り中は、録音を一時停止できません。
● 丸録りしても、UTOCエリアに空きがない場合はグループになりません。
● CDによっては録音時間に誤差が生じる場合があります。
● 録音できない曲番と録音曲数が表示されているときに、MDの録音時間（LPモード）を変更する（☞23ページ手順**3**、**4**）ことで丸録りできる場合があります。

CD/MD からテープに録る

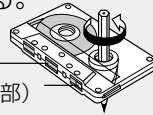
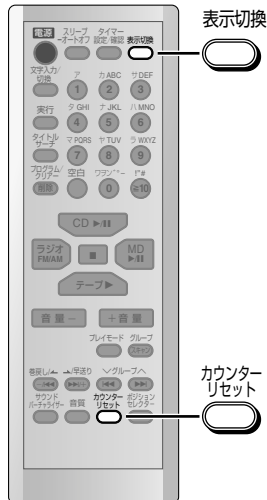
正しく録音できるテープ

ハイポジションテープ、メタルポジションテープを使うと、本機では正しく録音・消去できません。

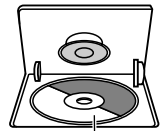
NORMAL POSITION/TYPE Ⅰ (ノーマル ポジション)	○
HIGH POSITION/TYPE Ⅱ (ハイ ポジション)	×
METAL POSITION/TYPE Ⅳ (メタル ポジション)	×

準備

- リーダーテープ部を巻きとる。

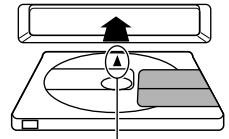
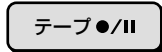
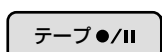
録音できる
録音できない(リーダーテープ部)

- 電源を入れる。
- 録音用テープを入れる。(☞ 17 ページ)

1

CD から録る

押して CD ふたを開けて
CD を入れて
もう一度押してふたを閉じる

ラベル面を上に向ける

MD から録る

MD を入れる

MD を押し込むと自動的に引き込まれます。

▲の向きに入れる

途中で止める	■	押す	
一時停止する	テープ ●/II	押す	● 再開するには、もう一度押す。 ● 録音された音がとぎれます。
気に入った曲をすぐ録音する(追っかけ録音)	テープ ●/II	CD 再生中または MD 再生中に押す	● 曲の初めに戻って録音し、最後の曲まで録音すると、テープは自動停止します。 ● 曲の途中から録音したい場合は、CD または MD を一時停止してから[テープ ●/II]を押す。 ● 1 曲だけ録音するには「1 曲をねらい録りする」(☞ 28 ページ手順 **1**、**2**)で"1 - REC ?"を選んでおいてください。

お願い

- **CD を入れて CD ふたを閉めた直後や、録音中、一時停止中に、CD ふたを開けないでください。CD がターンテーブルから外れて、CD に傷がつく恐れがあります。**
- CD ふたを開けるときは、ハンドルを倒した状態で開けてください。
- **一時停止中は、テープを取り出さないでください。**

はじめてテープを使用する場合は、49 ページ「テープについて」をお読みください。

CD/MDからテープに録る

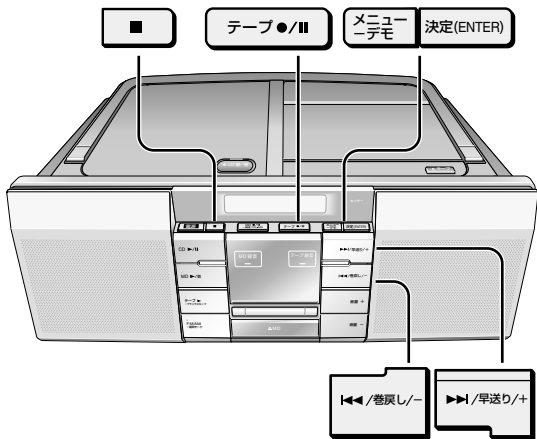
テープカウンターなどを表示させる	リモコン 表示切換	押す	● 押すたびに表示される内容が切り換わります。 CD REC TAPE 125
テープカウンターをリセットする	リモコン カウンターリセット	テープカウンターを表示させた状態で 押す	CD REC TAPE 000
うら面に続けて録音する	① ►►I/早送り/＋ I◄◄/巻戻し/－	テープをうら返してから 押して 録音が途切れた曲(CD/MD)の頭出しをする	● 曲の始めに戻り、最後の曲まで順に録音して停止します。
	② テープ●/II	押す	

お知らせ

- 録音レベルは自動的に設定されます。音量や音質を変えても、録音には影響しません。
- 乾電池の消耗による録音時のトラブルを防ぐため、電源コードか新しい乾電池のご使用をおすすめします。

CD/MD→テープの便利な録りかた

準備

① 電源を入れる。
② 録音用テープを入れる。(17 ページ)
③ CD/MD を入れる。(8、10 ページ)
④ [■]を押して "CD" または "MD" を選ぶ。

好みの曲を予約して録る (プログラム録音)

1 録音したい曲をプログラム予約する

(14 ページ「好みの曲を予約順に聞く(プログラムプレイ)」手順 **1**、**2**)

1 曲をねらい録りする (1-REC)

全曲を丸録りする (AUTO REC)

CD の全曲/MD の全曲をテープに録音します。
録音前に全曲入るかを確認できます。

共通の項目

■ 途中で止める

[■] を押す。(AUTO REC は解除されます)

お知らせ

- 乾電池の消耗による録音時のトラブルを防ぐため、電源コードか新しい乾電池のご使用をおすすめします。

プログラム録音

お知らせ

- プログラム録音は、曲と曲の空きが少し多くなります。このため、テープでは "C-○○" と表示されても○○分のテープに全曲録音できないことがあります。
- プログラム録音中は、録音を一時停止できません。
- おもて面の録音が終了するとテープは停止し、CD/MD は一時停止します。続きを録音するには、テープを取り出して、表裏を入れ換えてから、[テープ ●/II]を押してください。
  また、テープのおもて面の最後で曲がとぎれた場合は、うら面にその曲を初めから録音します。
- "C ーーーー" と表示されたら録音に必要なテープの長さが 120 分以上であることを表しています。
- テープは自動的に巻き戻され、約 10 秒間、無音録音した後、1 曲目から録音します。録音済みテープは上書きされます。
- テープおもて面終了直前にリーダーテープ部より短い曲があれば、その曲は録音されません。

- テープは表示された時間（分）より長いものを入れる。
- リモコンの[表示切換]を押すと、表示される内容が切り換わります。

テープは自動的に巻戻されます。
テープ録音ランプが点灯して録音が始まり、終了すると停止します。
（AUTO REC は解除されます）

決定(ENTER) 押す

テープ録音ランプが点灯して録音が始まり、終了すると停止します。

押して“AUTO REC?”を選び

AUTO REC?

決定(ENTER) 押す

TAPE:C− 52

- テープは表示された時間（分）より長いものを入れる。
- リモコンの[表示切換]を押すと、表示される内容が切り換わります。

テープは自動的に巻戻されます。
テープ録音ランプが点灯して録音が始まり、終了すると停止します。
（AUTO REC は解除されます）

1 曲をねらい録りする（1-REC）

お知らせ

1-REC は自動的に解除されません。
録音が終了しても、1-REC は自動的に解除されません。
解除するには下記を行います。
① ［メニューーデモ］を押す。[|◀◀/巻戻し/ー］［▶▶|/早送り/＋］を押して “REC MODE” を選び、［決定(ENTER)］を押す。
② ［|◀◀/巻戻し/ー］［▶▶|/早送り/＋］を押して、“MANUAL REC?”を選び、[決定 (ENTER)]を押す。

全曲を丸録りする（AUTO REC）

お知らせ

- 丸録り中は、録音を一時停止できません。
- おもて面の録音が終了するとテープは停止し、CD/MD は一時停止します。続きを録音するには、テープを取り出して、表裏を入れ換えてから、[テープ ●/❚❚]を押してください。
  また、テープのおもて面の最後で曲がとぎれた場合は、うら面にその曲を初めから録音します。
- “C ーーーー” と表示されたら録音に必要なテープの長さが 120 分以上であることを表しています。
- テープは自動的に巻き戻され、約 10 秒間、無音録音した後、1 曲目から録音します。録音済みテープは上書きされます。
- テープおもて面終了直前にリーダーテープ部より短い曲があれば、その曲は録音されません。

テープから MD に録る

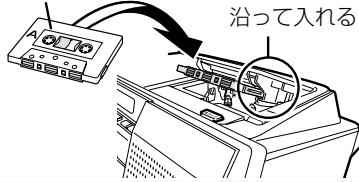
準備

- 電源を入れる。
- 録音用 MD を入れる。
（☞10 ページ）

1 曲も録音されてないときは、表示部に "BLANK DISC" と表示されます。

1

▲テープ

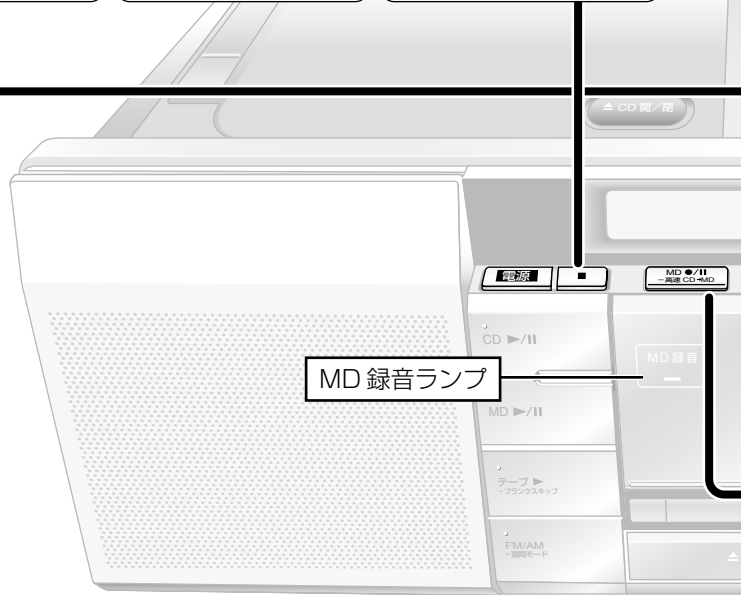
押して
テープを入れて
手でテープホルダーを閉める

2

MD の録音時間（LP モード）を選ぶ
（☞23 ページ 手順 **3**、**4**）

3

■

押して
"TAPE" を選ぶ

TAPE
---- TAPE ---

途中で止める	■	押す	● "UTOC Writing" の点滅後に録音が停止します。 UTOC Writing
一時停止する	MD ●/II –高速 CD→MD	押す	● 再開するには、もう一度押す。 ● トラックマークがひとつ付きます。 ● AUTO MARK モードでは一時停止できません。
残り時間などの情報を見る	リモコン 表示切換	押す	● 押すたびに、表示される内容が切り換わります。 MD Rem 25:30

はじめて MD を使用する場合は、48 ページ「MD について」をお読みください。

録音モードについて

MANUAL（マニュアル）：通常の録音モードです。トラックマーク（☞ 49 ページ）は自動で付きません。

TIME MARK（タイム マーク）：5 分おきにトラックマークが自動的に付くモードです。

AUTO MARK（オート マーク）：テープの曲間を検知してトラックマークを記録します。

お知らせ

- AUTO MARK モードの場合、テープの内容によってはトラックマークが正しく付かないことがあります。
- マイクを接続していると、トラックマークが正しく付かないことがあります。
- AUTO MARK モードでテープをリーダーテープ部から録音すると、約 2 秒の不要な曲が MD に記録される場合があります。**「トラックイレース」**（☞ 36 ページ）で消してください。
- 本機では長時間モノラル録音はできません。
- テープのおもて面が終了すると録音は停止します。うら面を録音するには、テープを取り出して、表裏を入れ換えて、手順 **6** を行ってください。
- 乾電池の消耗による録音時のトラブルを防ぐため、電源コードか新しい乾電池のご使用をおすすめします。

ラジオからMDに録る/ラジオからテープに録る

ラジオ→MD

準備

- 電源を入れる。
- 録音用MDを入れる。（☞10ページ）

1曲も録音されてないときは、表示部に“BLANK DISC”と表示されます。

1

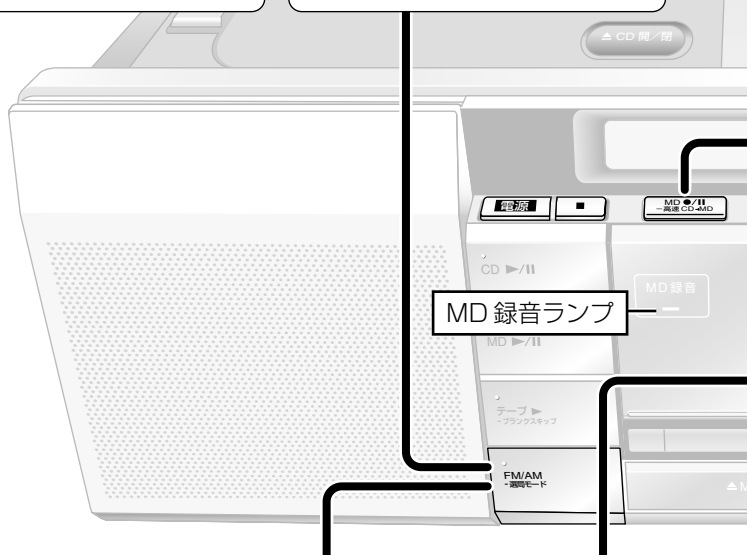
MDの録音時間（LPモード）を選ぶ

（☞23ページ手順**3**、**4**）

2

FM/AM
－選局モード

ラジオまたはテレビ放送を受信する

（☞18ページ）

ラジオ→テープ

正しく録音できるテープ

ハイポジションテープ、メタルポジションテープを使うと、本機では正しく録音・消去できません。

NORMAL POSITION/TYPE Ⅰ	○
HIGH POSITION/TYPE Ⅱ	×
METAL POSITION/TYPE Ⅳ	×

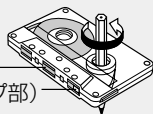
準備

- リーダーテープ部を巻きとる。

録音できる
録音できない（リーダーテープ部）

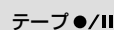
- 電源を入れる。
- 録音用テープを入れる。（☞17ページ）

1

FM/AM
－選局モード

ラジオまたはテレビ放送を受信する

（☞18ページ）

2

テープ●/❚❚

押す

テープ録音ランプが点灯し、録音が始まります。テープのおもて面が終了すると録音は停止します。

録音モードについて

MANUAL：通常の録音モードです。トラックマーク（☞49ページ）は自動で付きません。
TIME MARK：5分おきにトラックマークが自動的に付くモードです。

はじめて MD を使用する場合は、48 ページ「MD について」を、はじめてテープを使用する場合は、49 ページ「テープについて」をお読みください。

途中で止める		■	押す	● MD に録音中は、"UTOC Writing" の点滅後に録音が停止します。
一時停止する	MD に録音中	MD ●/II ー高速 CD→MD	押す	● 再開するには、もう一度押す。 ● トラックマークがひとつ付きます。
	テープに録音中	テープ ●/II	押す	● 再開するには、もう一度押す。
残り時間、テープカウンターなどの情報を見る	リモコン 表示切換		押す	● 押すたびに、表示される内容が切り換わります。 MD Rem 25 : 30
テープカウンターをリセットする	リモコン カウンターリセット		テープカウンターを表示させた状態で 押す	RADIO REC TAPE 000

お願い

● AM 放送を録音するときは AM ループアンテナと本機をできる限り離してください。近づけるとノイズが入ることがあります。

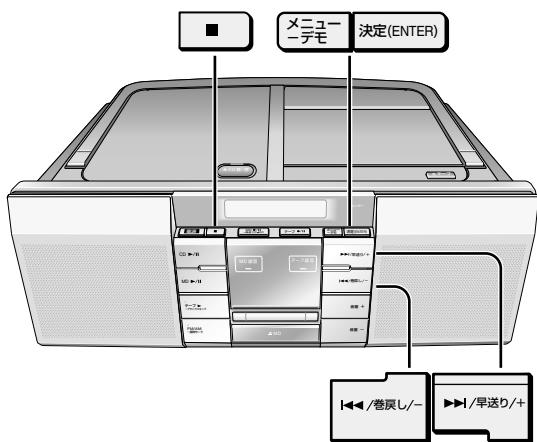
お知らせ

● エリアバンクで記憶させた放送局を MD に録音すると、放送局が曲の名前（トラックタイトル）として記録されます。
● AM 放送を MD に録音または録音待機中は、テープを取り出せません。
● 本機で長時間モノラル録音はできません。
● 乾電池の消耗による録音時のトラブルを防ぐため、電源コードか新しい乾電池のご使用をおすすめします。
● テープの録音できる時間は片面の時間になります。例えば、25 分間録音する場合は、25 分の2 倍以上のテープ（例： 60 分）を入れてください。

MDを編集する

曲順を入れ換えたり、不要な部分を削除したりして、自分だけのオリジナル MD を作れます。（録音用 MD のみ）

準備

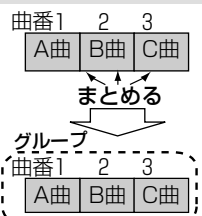
① 電源を入れる。
② 編集する MD を入れる。（☞ 10 ページ）
③ [■] を押して“MD”を選ぶ。

編集モード

演奏状態（再生・停止など）により表示される編集モードは異なります。

TRACK ERASE?	：	1 曲ずつ消す
ALL ERASE?	：	全曲を消す
MOVE?	：	曲を移動する
COMBINE?	：	曲と曲をつなげる
DIVIDE?	：	曲を 2 つに分ける
TITLE ST.?	：	タイトルステーション
GROUP?	：	曲のグループを作る

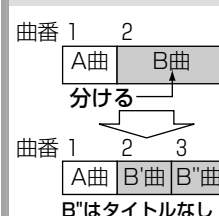
曲のグループを作る（グループ）

MD に録音した曲を、ひとつのグループにして管理できます。（最大 99 グループまで）

こんな MD になります

1 [メニュー−デモ] 停止中に押す
[|◀◀/巻戻し/−] [▶▶|/早送り/+] 押して“EDIT MODE”を選び
EDIT MODE
[決定(ENTER)] 押す

4 [|◀◀/巻戻し/−] [▶▶|/早送り/+] 押してトラック番号を選び
1?----
[決定(ENTER)] 押す

曲を 2 つに分ける（ディバイド）

こんな MD になります

1 [メニュー−デモ] 2 つに分ける曲を再生中に押す
もう一度押すと、元の表示に戻ります。
[|◀◀/巻戻し/−] [▶▶|/早送り/+] 押して“EDIT MODE”を選び
EDIT MODE
[決定(ENTER)] 押す

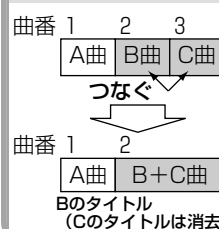
曲と曲をつなげる（コンバイン）

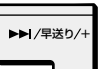
こんな MD になります

1 [メニュー−デモ] 停止中に押す
[|◀◀/巻戻し/−] [▶▶|/早送り/+] 押して“EDIT MODE”を選び
EDIT MODE
[決定(ENTER)] 押す

共通の項目

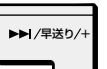
■ **途中で解除する**
[■] を押す。

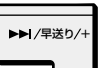
以下の場合は MD の編集はできません。解除してください。
- MD が誤消去防止になっている場合（☞ 48 ページ）
- MD をプログラム、ランダム、グループプレイに設定している場合（☞ 12、14 ページ）

グループ

お知らせ
- グループにできるのは、連続した曲（例： 1 曲目〜 3 曲目）のみです。
- 1 曲だけでもグループにできます。
- 1 曲を複数のグループに入れることはできません。
- グループの順番は編集した順番ではなく、曲番の小さい順になります。
- グループ編集を行った MD で編集作業を行うと、編集内容に応じて、グループ情報も自動的に更新されます。

2 [⏮/巻戻し/−] [⏭/早送り/+]
押して "GROUP?" を選び
（☞ 左ページ「編集モード」）

GROUP?

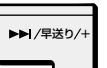
[決定(ENTER)] **押す**

3 [⏮/巻戻し/−] [⏭/早送り/+]
押して "GROUP SET?" を選び

GROUP SET?

押すたびに
GROUP SET? ⟷ 1-RELEASE? → ALL RELEASE? → GROUP SET?

[決定(ENTER)] **押す**

5 [⏮/巻戻し/−] [⏭/早送り/+]
押してトラック番号を選び

1 ~ 3?

[決定(ENTER)] **押す**

6 **グループにタイトルをつける**
（☞ 41 ページ）

7 [決定(ENTER)] **押す**

"UTOC Writing" の点滅後、編集が完了します。

2 [⏮/巻戻し/−] [⏭/早送り/+]
押して "DIVIDE?" を選び
（☞ 左ページ「編集モード」）

DIVIDE?

[決定(ENTER)] **分けたい位置で押す**

分けた位置から、約 4 秒間くり返し再生します。

POS +000?

3 [⏮/巻戻し/−] [⏭/早送り/+]
押して正確な位置に調節して

POS +002?

調節範囲
LP MODE OFF ：前後約 8 秒間
LP2 ：前後約 16 秒間
LP4 ：前後約 32 秒間
数値は−128 から＋127 の範囲で表示されます。

[決定(ENTER)] **押す**

"UTOC Writing" の点滅後、編集が完了します。
（トラックマークが 1 つ増えます）

2 [⏮/巻戻し/−] [⏭/早送り/+]
押して "COMBINE?" を選び
（☞ 左ページ「編集モード」）

COMBINE?

[決定(ENTER)] **押す**

3 [⏮/巻戻し/−] [⏭/早送り/+]
押して 1 つにつなぐ曲の組み合わせを選び
（隣り合う 2 曲のみ選択可）

2+ 3?

[決定(ENTER)] **押す**

つなぐ曲番（例："2+ 3 ?"）と "PUSH ENTER" が交互に表示されます。

4 [決定(ENTER)] **押す**

"UTOC Writing" の点滅後、編集が完了します。（トラックマークが 1 つ減ります）

グループを解除する

- **ひとつのグループを解除する**
  ① 手順 **3** で "1-RELEASE?" を選び、[決定（ENTER）] を押す。
  ② [⏮ /巻戻し/−] [⏭/早送り/＋] を押して、解除したいグループを選び、[決定（ENTER）] を押す。
  ③ [決定（ENTER）] を押す。（"UTOC Writing" と表示）
- **全グループを解除する**
  ① 手順 **3** で "ALL RELEASE?" を選び、[決定（ENTER）] を押す。
  ② [決定（ENTER）] を押す。（"UTOC Writing" と表示）

コンバイン

再生中（または一時停止中）に 2 曲をつなぐ

① つなぎたい 2 つの曲の後ろの曲を再生中（または一時停止中）に［メニュー−デモ］を押す。[⏮ /巻戻し/−] [⏭/早送り/＋] を押して "EDIT MODE" を選び、[決定（ENTER）] を押す。
② 手順 **2** から順に操作する。
曲を選ぶ手順 **3** は、自動的にスキップされます。

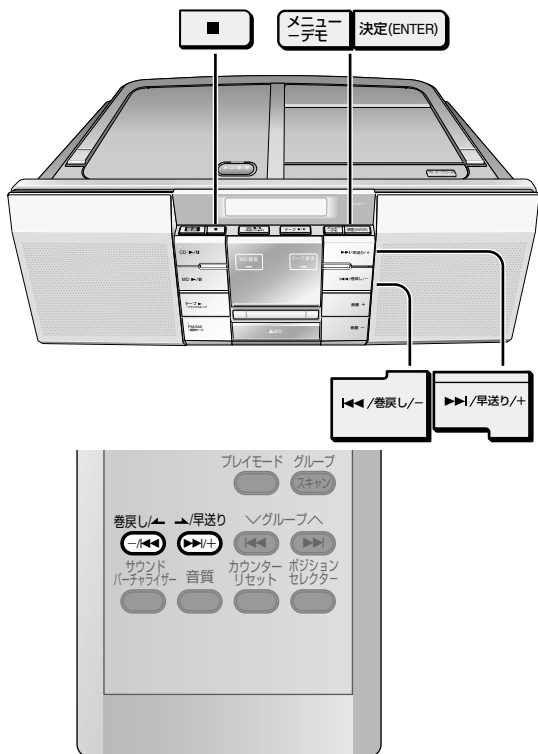
お知らせ

- 異なるモード（LP MODE OFF/LP2/LP4/長時間モノラル）で録音された曲は、1 つにつなげません。

編集

MD を編集する（つづき）

準備

① 電源を入れる。
② 編集する MD を入れる。(☞ 10 ページ)
③ ［■］を押して “MD” を選ぶ。

編集モード

演奏状態（再生・停止など）により表示される編集モードは異なります。

- TRACK ERASE? ： 1 曲ずつ消す
- ALL ERASE? ： 全曲を消す
- MOVE? ： 曲を移動する
- COMBINE? ： 曲と曲をつなげる
- DIVIDE? ： 曲を 2 つに分ける
- TITLE ST.? ： タイトルステーション
- GROUP? ： 曲のグループを作る

共通の項目

■ 途中で解除する
［■］を押す。

以下の場合は MD の編集はできません。解除してください。
- MD が誤消去防止になっている場合（☞ 48 ページ）
- MD をプログラム、ランダム、グループプレイに設定している場合（☞ 12、14 ページ）

曲を移動する（ムーブ）

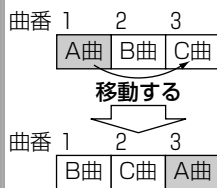
こんな MD になります

1 [メニュー-デモ] 停止中に押す

押して “EDIT MODE” を選び

EDIT MODE

［決定(ENTER)］押す

4

押して移動先を選び

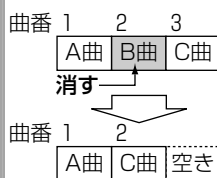
1 → 3?

［決定(ENTER)］押す

移動する曲番（例：“1 → 3 ?”）と “PUSH ENTER” が交互に表示されます。

1 曲ずつ消す（トラックイレース）

こんな MD になります

1 [メニュー-デモ] 停止中に押す

押して “EDIT MODE” を選び

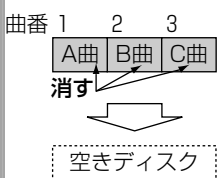
EDIT MODE

［決定(ENTER)］押す

4 ［決定(ENTER)］押す

“UTOC Writing” の点滅後、編集が完了します。

全曲を消す（オールイレース）

こんな MD になります

1 [メニュー-デモ] 停止中に押す

押して “EDIT MODE” を選び

EDIT MODE

［決定(ENTER)］押す

2
押して “MOVE?” を選び

（☞左ページ「編集モード」）

押す

3
押して移動する曲を選び

1 ?→– – –

決定(ENTER) 押す

■ 再生中(または一時停止中)に移動する

① 移動したい曲を再生（または一時停止）中に［メニュー–デモ］を押す。[⏮/巻戻し/–][⏭/早送り/+] を押して “EDIT MODE” を選び［決定（ENTER)］を押す。
② 手順 **2** から順に操作する。曲を選ぶ手順 **3** は、自動的にスキップされます。

5 決定(ENTER) 押す

“UTOC Writing”の点滅後、編集が完了します。

2
押して “TRACK ERASE?” を選び

（☞左ページ「編集モード」）

TRACK ERASE?

決定(ENTER) 押す

3
押して曲番を選び

ERASE 2 ?

決定(ENTER) 押す

消す曲番（例：“ERASE 2 ?”）と “PUSH ENTER” が交互に表示されます。

続けて曲を消すときは、この操作をくり返す（最大 24 曲まで）

■ 消す（手順 4 を行う）前に曲番を確かめる

リモコンの[–/⏮ 巻戻し/ ◀] または [⏭/+ ▶ /早送り] を押す。

■ 再生中(または一時停止中)の 1 曲だけ消す

① 消したい曲を再生（または一時停止）中に［メニュー–デモ］を押す。[⏮/巻戻し/–][⏭/早送り/+] を押して “EDIT MODE” を選び［決定（ENTER)］を押す。
② 手順 **2** から順に操作する。曲を選ぶ手順 **3** は、自動的にスキップされます。

2
押して “ALL ERASE?” を選び

（☞左ページ「編集モード」）

ALL ERASE?

押す

“ALL ERASE ?”と“PUSH ENTER”が交互に表示されます。

3 決定(ENTER) 押す

“UTOC Writing” → “BLANK DISC” 表示になり、編集が完了します。

編集

MD にタイトルをつける

- 録音用 MD には、MD(ディスクタイトル)の名前やグループ名(タイトル)、曲(トラックタイトル)の名前をそれぞれ約 100 文字まで記録できます。(LP2/LP4 では 97 文字)
- 1 枚の MD には、最大約1700 文字(カナ文字では約半分の文字数)まで入力できます。ただし、LP2/LP4 で録音したり、グループの設定をすると入力できる文字数は減ります。

準備(録音後につけるとき)

① 電源を入れる。
② タイトルをつける MD を入れる。
(☞ 10 ページ)
③ [■] を押して“MD”を選ぶ。

録音中につける

CD を録音中にまとめてタイトルをつける

通常/高速録音中はトラックタイトルを、丸録り中はグループタイトルとトラックタイトルをつけられます。

1 文字入力/切換 **録音中に押す**

通常/高速録音中：
トラックタイトル入力画面になります。手順 3 に進みます。

丸録り中：
グループタイトル入力画面になります。

例：通常録音中

TR 5 TITLE

カーソル

録音後につける

録音した MD にディスクタイトルをつける

1 文字入力/切換 **停止中に押して“DISC?”を選ぶ**

DISC? TITLE

押すたびに
DISC? → GROUP? → TRACK?
↑―― 元の表示 ←――

“GROUP?”はグループ編集している MD でのみ表示されます。

録音した MD にグループ/トラックタイトルをつける

1 文字入力/切換 **停止中に押して“GROUP?”または“TRACK?”を選ぶ**

実行 **押す**

例：トラック

TRACK? TITLE

押すたびに
DISC? → **GROUP?** → **TRACK?**
↑―― 元の表示 ←――

“GROUP?”はグループ編集している MD でのみ表示されます。

共通の項目

■ 途中で解除する

[■] を押す。
ただし、[実行] を押して確定したタイトルは残ります。[文字入力/切換] を押すと、もう 1 度最初からタイトルを入力/修正できます。

CD を録音中にまとめてタイトルをつける

お知らせ

- タイトルは、1 曲目から順に記録されます。前の曲には戻れません。
- CD のランダム、リピート設定中は、録音中のトラックのみタイトルをつけられます。
- タイトル入力する前に録音を一時停止すると、まとめてタイトル入力できません。
- 一時停止中は、タイトル入力できません。
- タイトル入力中/入力後は、一時停止できません。

2 **グループタイトルを入力する**

(☞41 ページ)

押す

トラックタイトル入力画面になります。

3 **トラックタイトルを入力する**

(☞41 ページ)

押す

次の曲のトラックタイトル入力画面になります。

必要に応じて、タイトル入力をくり返す
(入力しない曲は、[実行]でとばせます)

次にトラックがないときは“TITLE WRITE”と表示した後、通常の表示に戻ります。

■ **タイトルを追加、訂正する**
録音中は、[文字入力/切換]を押すと、もう 1 度最初からタイトルを入力/修正できます。
録音終了後は、**「録音したMD にグループ/トラックタイトルをつける」**(☞左ページ)をします。

■ **タイトル入力中のグループまたはトラック番号を確認する**
[表示切換] を押す。

2 実行 **押す**

タイトル入力画面になります。

3 **文字を入力する**

(☞41 ページ)

4 実行 **押す**

“UTOC Writing”点滅後、タイトル入力が完了します。

■ **入力後にタイトルを確認する**
[表示切換] を数回押す。表示される内容は、現在行っている操作やソースなどによって異なります。

2 巻戻し/◀ ▶/早送り

押してグループまたは曲番を選ぶ

例：曲番

3 実行 **押す**

タイトル入力画面になります。

4 **文字を入力する**

(☞41 ページ)

押す

“UTOC Writing” 点滅後、次のグループまたはトラックタイトルの入力画面になります。

必要に応じて、タイトル入力をくり返す

5 ■ **押す**

タイトル入力が完了します。

■ **入力後にタイトルを確認する**
[表示切換] を数回押す。表示される内容は、現在行っている操作やソースなどによって異なります。

録音した MD にディスク/グループ/トラックタイトルをつける

お知らせ

- プログラム、ランダム、1 曲リピート、グループプレイ設定中は、タイトル入力できません。解除してください。

録音した MD の再生中にタイトルをつけることもできます(再生中の曲のみ)

① 再生中に [文字入力/切換] を押す。
② 文字を入力し(☞41 ページ)、[実行] を押す。
“TITLE WRITE” と表示された後、通常の表示に戻ります。

再生中にタイトルをつけると、つづきの再生中に MD の編集はできません。MD を止めてから編集してください。

MD にタイトルをつける（つづき）

タイトルをコピーする前に

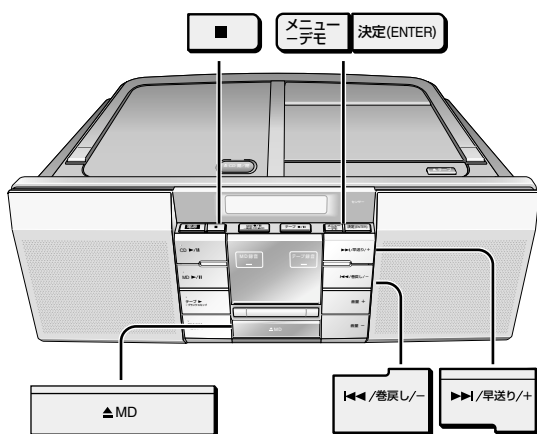
- コピー元とコピー先の MD の曲数が同じときだけコピーできます。
- 再生専用 MD や未録音の MD は使えません。
- すでにタイトルの入っている MD にタイトルをコピーすると、以前のタイトルはすべて消えます。

準備

① 電源を入れる。
② ［■］を押して "MD" を選ぶ。

他の MD にタイトルをコピーする

（タイトルステーション）

MD のディスク/トラックタイトルを別の MD にそのままコピーできます。

タイトルステーション

■ 途中で解除する

［■］を押す。

お知らせ

- 本機が記憶できるタイトルは、MD1 枚分です。
- 本機に記憶されたタイトルは、一度コピーすると消えます。
- 電源を切ると本機のタイトルは失われます。
- LP2/LP4 で録音した曲をコピー元のMDとして使った場合、コピー先の曲が標準（LP MODE OFF）で録音されていても、トラックタイトルの頭に "LP:" と表示されます。
- コピー元の MD がグループ管理されているときは、コピー先の MD にグループ管理情報もコピーされます。

文字入力のしかた

タイトル入力画面にした後、入力します。

1 文字入力/切換

押して 文字の種類を選ぶ

押すたびに

カナ<ア>→英大<A>→英小<a>→数字<1>

続けて同じ種類の文字を入力するときは、この操作は不要です。

2 ア 1 カABC 2 サDEF 3 タGHI 4 ナJKL 5 ハMNO 6 マPQRS 7 ヤTUV 8 ラWXYZ 9 ワヲン゛゜ー 0 !"# ≧10

押して 文字を選ぶ

a <a>

選んだ文字がカーソルに表示されます。

3 ⏩/早送り ⏭/+

押す

a <a>

文字が確定され、次の文字が入力できます。

文字の種類と各ボタンに割り当てられた文字

各ボタンを押すたびに、1 文字ずつ順に表示されます。

	カタカナ	アルファベット		数字
		大文字	小文字	
ア 1	アイウエオ ァィゥェォ			1
カABC 2	カキクケコ	ABC	abc	2
サDEF 3	サシスセソ	DEF	def	3
タGHI 4	タチツテト ッ	GHI	ghi	4
ナJKL 5	ナニヌネノ	JKL	jkl	5
ハMNO 6	ハヒフヘホ	MNO	mno	6
マPQRS 7	マミムメモ	PQRS	pqrs	7
ヤTUV 8	ヤユヨ ャュョ	TUV	tuv	8
ラWXYZ 9	ラリルレロ	WXYZ	wxyz	9
ワヲン゛゜ー 0	ワヲン゛゜ー			0

文字入力のしかた

■ **入力を途中で止める**

[■] を押す。

ただし、[実行] を押して確定したタイトルは残ります。

■ **入力済みの文字を変更する**

[−/⏮ 巻戻し/⏪] または [⏭/+ ⏩ /早送り] で変更する文字にカーソルを合わせる。

- **文字を訂正する**
  文字入力（上記）で上書きし、[⏭/+ ⏩ /早送り] を押す。
- **文字を削除する**
  [削除 プログラム/クリアー] を押す。
- **1 文字あける**
  [空白] を押す。
- **文字を挿入する**
  ① 挿入する位置で、挿入する文字の数だけ[空白] を押す。
  ② 文字を入力する。（上記）

■ **゛゜ ーを入力する**

[0 ワヲン゛゜ー] を数回押す。

濁点（゛）や半濁音（゜）は、表記可能なカタカナの後ろにだけ入力できます。

■ **記号を入力する**

[≧10 !"#] を押す。

押すたびに下の順序で記号が現れます。

! " # $ % & ' ( ) ＊ + , − . / : ; < = > ? @ _ `

■ **1 文字空き（空白）を入力する**

[空白] を押す。

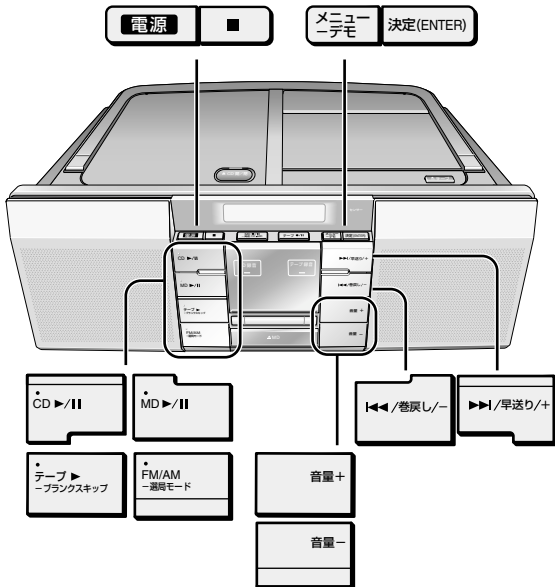
お知らせ

- 文字の種類は、入力中でも切り換えられます。
- 再生、録音が次の曲に移っても、タイトルが次の曲につくことはありません。

編集

タイマーを使う

準備

① 電源を入れる。
② 時計を合わせる。(☞ 6 ページ)
（おめざめタイマーを使うときのみ）

おやすみタイマーを使う

設定した時間が経過すると、再生を停止し、自動的に電源が切れます。

リモコン

スリープ
－オートオフ

音源（ソース）を聞きながら押して再生時間を指定する

押すたびに
SLEEP 30 → 60 → 90 → 120
(単位:分)　　　　　　OFF

おめざめタイマーを使う

電源コードでご使用時のみ

- 開始時刻に電源が入り、好みの音源（ソース）を再生し、終了時刻に電源が自動的に切れます。
- 一度時刻設定しておくと、あとは音源（ソース）の設定を変えるだけで、違う音源（ソース）で使えます。

例：
6:30 ～ 7:40
まで再生する

タイマー時刻設定（24 時間表示）

1 メニュー－デモ　押す

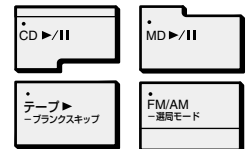
I◄◄/巻戻し/－　►►I/早送り/＋　押して

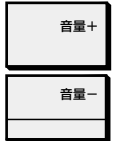
“TIMER ADJUST” を選び

決定(ENTER)　押す

タイマー実行設定

5 音源（ソース）と音量を選ぶ

① 音源（ソース）を再生し、

好みの曲を予約するには
(☞ 14 ページ)

② 音量を調節し、　音量＋　音量－

③ CD/MD/テープは再生を止める　■

おやすみタイマーを使う

お知らせ

- おやすみタイマーが 10 分以上残っていても、**オートオフ**を働かせているときは、オートオフが優先します。

■ **解除する**
[スリープ-オートオフ] を押して "SLEEP OFF" を選ぶ。

■ **残り時間を確かめる**
[スリープ-オートオフ] を 1 回押す。残り時間が約 5 秒間表示されます。

■ **残り時間を変える**
[スリープ-オートオフ] を押して新たに時間を設定する。

電源の切り忘れを防ぐ（オートオフ）

ボタン操作のない状態が約 10 分続くと、自動的に電源が切れます。

リモコン

スリープ-オートオフ

"AUTO OFF − ON −" と表示されるまで押したままにする

AUTO OFF−ON−

■ **解除する**
"AUTO OFF − OFF −" と表示されるまで [スリープ-オートオフ] を押したままにする。

押して "TIMER PLAY" を選び

TIMER PLAY

決定(ENTER) **押す**

3

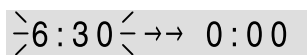
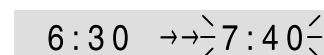
10 秒以内
押して開始時刻に合わせ

6:30 →→ 0:00

決定(ENTER) **押す**

4

押して終了時刻に合わせ

6:30 →→ 7:40

決定(ENTER) **押す**

6 リモコン

タイマー設定/確認 **押して**

"◴PLAY" を点灯させる

◴PLAY
6:30 →→ 7:40

押すたびに
TIMER-OFF（解除）→ALARM→◴PLAY
↑　↓
◴REC ← ALARM◴PLAY
(MD REC/TAPE REC)

時刻設定していないタイマーは表示されません

7 電源 **押して電源を切る**

電源を切らないと、タイマーが動作しません
開始時刻になると、設定した音量までフェードイン（徐々に大きく）して再生します。（動作中は、"◴PLAY" が点滅）

タイマー設定後でも、再生や録音はできます
操作の後は、必ず電源を切ります。
電源を切らないと、タイマーが動作しません。

■ **解除する**
電源「入」時、リモコンの [タイマー設定/確認] を押して "TIMER-OFF" を選ぶ。
再び実行させるときは、"◴PLAY" を選び、電源を切る。

■ **設定内容を確認する**
電源「切」時、リモコンの [タイマー設定/確認] を押す。

オートオフ

お知らせ

- オートオフ機能は、CD、MD、テープの停止中のみ働きます。
  ラジオを聞いているときは働きません。
- オートオフ機能を ON にしておくと、電源「入」時に "AUTO OFF" と表示されます。
- **おやすみタイマー**が 10 分以上残っていても、オートオフを働かせているときは、オートオフが優先します。

おめざめタイマーを使う

操作をまちがえたり、設定内容を変えるときは

- **時刻を変えるとき**
  電源を入れ、***タイマー時刻設定*** を行い、電源を切る。
- **音源（ソース）を変えるとき**
  ① [タイマー設定/確認] を押して "TIMER-OFF" を選ぶ。
  ② ***タイマー実行設定*** をする。

お知らせ

- おめざめタイマーと留守録タイマーは同時に設定できません。
- タイマーを解除しない限り、毎日同時刻に動作します。
- **アラームタイマー**（☞ 44 ページ）を設定している場合でも、おめざめタイマーを設定できます。両方を設定するには、手順 **6** で "ALARM ◴PLAY" を選びます。

タイマーを使う（つづき）

準備

① 電源を入れる。
② 時計を合わせる。（ ☞ 6 ページ）
③ 録音用 MD またはテープを入れる。
（ ☞ 10、17 ページ）
（留守録タイマーを使うときのみ）

留守録タイマーを使う

電源コードでご使用時のみ

開始時刻に電源が入り、ラジオ放送を録音し、終了時刻に電源が自動的に切れます。

例：
18:30 ～ 20:00 まで放送を録音する

タイマー時刻設定（24 時間表示）

“TIMER ADJUST” を選び

TIMER ADJUST

決定(ENTER) 押す

タイマー実行設定

5 放送を受信する

① 録音したい放送局を選び
（ ☞ 18 ページ）

② 音量を調節する

MD に録音時、必要に応じて下記を設定する。
- MD の録音時間（LP モード）
（☞ 23 ページ手順 **3**、**4**）
- 録音モード（ ☞ 33 ページ手順 **3**､**4**）

アラームタイマーを使う

指定した時刻にアラーム音を鳴らします。

例：
6:45 にアラーム音を鳴らす

タイマー時刻設定（24 時間表示）

1 メニュー－デモ 押す

“TIMER ADJUST” を選び

TIMER ADJUST

決定(ENTER) 押す

共通の項目

■ **設定内容を確認する**
電源「切」時、リモコンの［タイマー設定/確認］を押す。（電源コードでご使用時のみ）

■ **解除する**
電源「入」時に［タイマー設定/確認］を数回押して “TIMER-OFF” を選ぶ。
留守録タイマーを再び実行させるときは“MD REC” または “TAPE REC” を選び、電源を切る。
アラームタイマーを再び実行させるときは “ALARM” を選ぶ。

留守録タイマーを使う

操作をまちがえたり、設定内容を変えるときは

- **時刻を変えるとき**
電源を入れ、*タイマー時刻設定* を行い、電源を切る。
- **放送や録音設定を変えるとき**
① ［タイマー設定/確認］を押して “TIMER-OFF” を選ぶ。
② *タイマー実行設定* をする。

お知らせ

- 留守録タイマーはおめざめタイマー、アラームタイマーと同時に設定できません。
- タイマーを解除しない限り、毎日同時刻に動作します。
- テープの録音できる時間は片面の時間になります。例えば、25 分間録音する場合は、25 分の 2 倍以上のテープ（例： 60 分）を入れてください。

時刻設定していないタイマーは表示されません。
指定した時刻になると、本体動作中でもアラーム音が鳴ります。ただし、**本機を乾電池でご使用のときは、電源「切」時にはアラーム音は鳴りません。**

アラームタイマーを使う

お知らせ

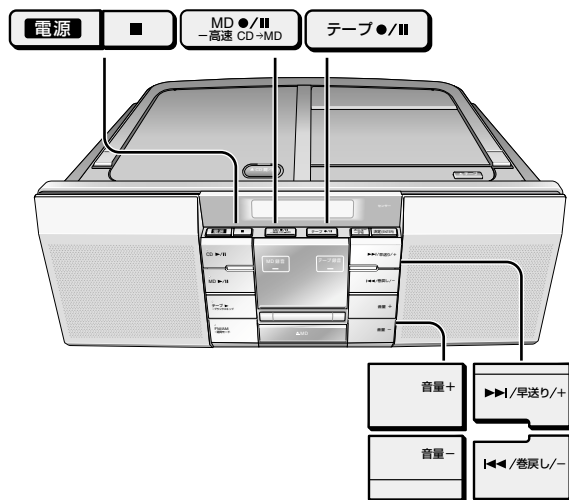
- アラームタイマーと留守録タイマーは同時に設定できません。
- 再生中や、おめざめタイマーと設定時刻が重なったときは、ミキシングした音になります。
- 録音中にアラームが鳴ってもアラーム音は録音されません。
- タイマーを解除しない限り、毎日同時刻に動作します。
- **おめざめタイマー**(☞ 42ページ)を設定している場合でも、アラームタイマーを設定できます。両方を設定するには、手順 **4** で“ALARM PLAY”を選びます。
- 電源「切」時にアラーム音が鳴ると、表示部の照明が点灯し、停止の操作をすると消えます。
- アラーム音が鳴っているときは“ALARM”が点滅します。

アラーム音を停止するには

アラームが鳴っているときに[■]を押す。

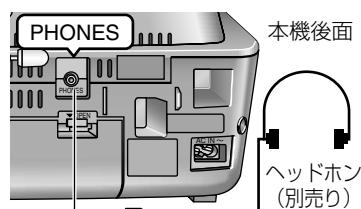
アラーム音を停止する操作をしないときは、約60分間鳴り続けます(音量は調節できません)。

ヘッドホンを使う/マイクを使う

別売り品の品番は、2004 年 12 月現在のものです。品番は変更されることがあります。

ヘッドホンを使う

1 電源を入れる。

2 音量を下げる。

3 本機後面の PHONES 端子にヘッドホンを接続し、音量を調節する。

ヘッドホン

● プラグタイプ：ステレオミニ（M3）
● 推奨品： RP-HT530、RP-HT242（ともに別売り）

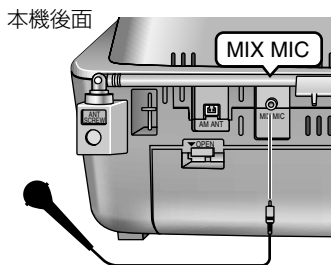
お願い

● 耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。

マイクを接続する

1 電源を入れる。

2 音量を下げ、本機後面の MIX MIC 端子にマイクを接続する。（スイッチ付きマイクのときは ON にする）

本機後面

マイク

● プラグタイプ：モノラルミニ（M3）
● 推奨品： RP-VK45（別売り）

マイクを接続してカラオケを楽しむ

1 CD またはテープ、ラジオ、MD を再生する。

2 カラオケを始め、[音量＋][音量－]を押して、本機の音量を調節する。

マイクを接続して拡声器として使う

1 [■]を押して、"CD"、"MD" または "TAPE" を選ぶ。

2 [音量＋][音量－]を押して、本機の音量を調節する。

マイクを接続して録音する

お願い

CD から MD へマイクを使ってミキシング録音するときは、はじめにマイクを接続してください。自動的にアナログ録音に切り換わります。
録音中にマイクを接続してもマイクの音は録音されません。

準備

● 録音用 MD またはテープを入れる。
● 必要に応じて MD の録音時間（LP モード）を選ぶ。（☞ 23 ページ手順 **3**、**4**）

カラオケを録音する（マイクミキシング）

1 CD を入れ、[■] を押して "CD" を選ぶ。

2 [I◀◀/巻戻し/－] または [▶▶I/早送り/＋] を押して好みの曲を選ぶ。

3 MD に録音する場合は[MD ●/II －高速 CD→MD]を押す。テープに録音する場合は [テープ ●/II] を押す。

マイクの音だけを録音する

1 [■]を押して、MD に録音する場合は "MD" を TAPE に録音する場合は "TAPE" を選ぶ。

2 MD に録音する場合は[MD ●/II －高速 CD→MD]を押す。テープに録音する場合は[テープ ●/II]を押す。

マイクを使う

お知らせ

● 音声多重の CD やテープを使っても、歌手の声を消すことはできません。
● マイクの録音中にハウリング（ピーという音）が起きたら、マイクをスピーカーから離すか、音量を下げてください。
● MD 再生中のレベル表示 "≪ ♪ ≫" にはマイク入力の信号は含まれません。
● マイクを使わないときは、マイクのプラグを抜いてください。（マイクを接続していると、CD から MD への録音はアナログになります。）
● CD 高速録音（☞ 22、24 ページ）でマイクミキシングはできません。
● マイクの録音レベルは変更できません。

音質・音場効果/便利な機能

音場効果 サウンドバーチャライザー

中音部を安定させたまま音に拡がり感を与えます。

サウンドバーチャライザー **押して "S. V. ON" を選ぶ**

S.V.　ON

押すたびに
S.V. ON ←→ S.V. OFF（解除）
効果はステレオ音声のみで、音楽によって異なります。

音質効果 イコライザー (EQ)

音質 **押して 音質モードを選ぶ**

HEAVY

押すたびに

- **HEAVY** ：ロックなど、パンチを効かせるとき
- ↓ **CLEAR** ：ジャズなど、高音部を鮮明にするとき
- ↓ **SOFT** ： BGM として聞くとき
- ↓ **VOCAL** ：ボーカルにつやを出したいとき
- ↓ **EQ-OFF** ：音質効果を使わないとき

お買い上げ時の設定は"HEAVY"です。

時間やタイトルなどの情報を見る（ディスプレイ）

表示切換 **押す**

押すたびにタイトルや残り時間などいろいろな情報が表示されます。

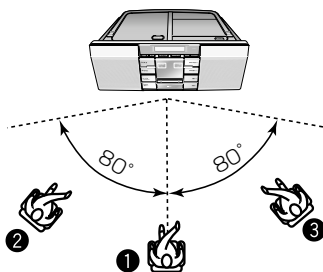
例：録音用 MD の残り時間

MD Rem　25:30

表示される内容は、現在行っている操作や音源（ソース）によって異なります。

スピーカーの音量バランスを調節する（ポジションセレクター）

スピーカーの音量バランス（左右2段階）を調節することで、本機正面で聞いていなくても、本機正面で聞いているような音場が楽しめます。

ポジションセレクター **押して 左右の音量が同じ大きさになるように調節する**

«««L R»

押すたびに

聞いている位置が本機正面の場合（❶）
≪L R≫

聞いている位置が本機の左側の場合（❷）
≪L R≫≫≫ ：本機正面から 20°～60° のとき
≪L R≫≫≫≫≫ ：本機正面から 50°～80° のとき

聞いている位置が本機の右側の場合（❸）
≪≪≪L R≫ ：本機正面から 20°～60° のとき
≪≪≪≪≪L R≫ ：本機正面から 50°～80° のとき

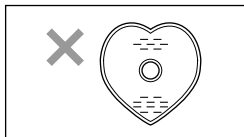
ポジションセレクター

お知らせ

- ポジションセレクター機能を ON にしておくと、電源「入」時に設定されている状態を表示します。
- ヘッドホンを使用するときは、ポジションセレクターを "≪L R≫" にしてください。
- 上記の角度は、良い効果を得るための目安です。本機との距離や部屋のつくりなどによっては、最適値が変わる場合があります。

CDについて

のマークが入ったものをご使用ください。

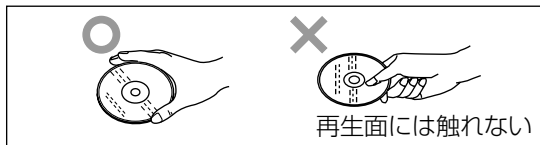
ただし、ハート型など、特殊形状のCDはご使用にならないでください。(機器の故障の原因になります)

上記ロゴマークの入ったものなど、規格に合致したディスクをご使用ください。規格外ディスクを使用すると、正しく再生できない場合があります。

■CD-RとCD-RWの再生について

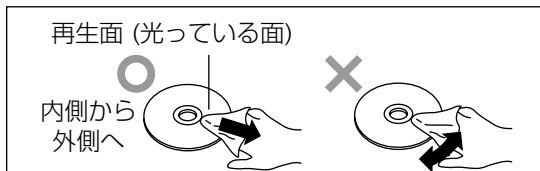
CD-DAフォーマットで記録された音楽用CD-RとCD-RW再生に対応しています。録音終了時にファイナライズ※が必要です。

ただし、記録状態によって再生できない場合があります。

※音楽用CD-R/CD-RW再生対応機器で再生できるように処理すること。

■持ちかた

■汚れたときは

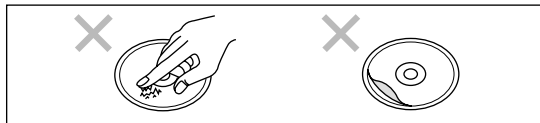
水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

推奨品：クリーニングクロス　VUA7091
（サービスルート扱い）

■露がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

取扱上のお願い

CDそのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

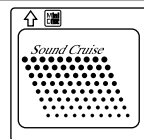
- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 紙やシール、ラベルを貼らない
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているCDは使わない

- 市販のラベルプリンターでディスク面に印刷したCDは使わない

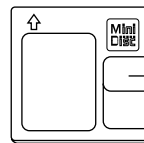
MDについて

MDの種類

■再生専用MD

録音できません。

ピットという小さなくぼみの有無でデータが記録されています。この方式のMDを「光ディスク」といいます。

■録音用MD

磁気によってデータを記録します。この方式のMDを「光磁気ディスク」といいます。

MDの録音・編集について

■テープとは違います

録音済みのMDは、自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、テープのように無録音部分を探す必要はありません。

ディスクがいっぱいになったときは、**イレース（消去）機能**（ ☞36ページ）で、いらない曲を消してから録音します。（上書き録音はできません）

■MD 1枚への録音曲数は、収録時間内で最大254曲までです

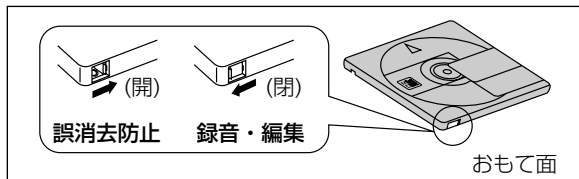
ただし、MDは2秒以下の音声を録音する場合にも約2秒間の領域を使用するため、実際に録音できる時間は少なくなることがあります。

■録音、編集時のお願い

録音や編集、タイトル入力を行っているときは、機器を振動させたり、電源コードを抜いたりしないでください。

“UTOC Writing”の点滅中に電源が切れたり、振動があると、録音・編集・タイトル入力がMDに正しく記録されません。

■大切な録音を消さないために

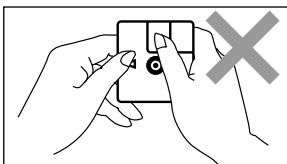
MDの誤消去防止つまみを、穴が開く方向へずらします。新たに録音、編集するときは閉じてください。

■ デジタル録音の制限について

デジタル接続での録音には、SCMS（シリアル・コピー・マネージメント・システム）という制限があります。

CDなどからMDにデジタル録音すると、信号劣化の少ないクリアな録音が得られます。そこで、著作権保護のため、このMDから、さらに別のMDへはデジタル録音できないようになっています。（「コピーのコピー」の禁止。）

なお、アナログ録音には、このような制限はありません。

取扱上のお願い

- シャッターは開かない
（万一開いてしまったときは、すぐに閉じてください。中の円盤には、直接手を触れないでください。）

- 指定外の場所にラベルを貼らない
（また、ラベルやテープの糊がはみ出したり、はがした跡のある MD は、故障の原因になりますので機器に入れないでください。）

よく出てくる MD 用語

■ トラックマーク
録音部分に記録される「区切り」のことです。ある区切りから次の区切りまでが 1 曲と数えられます。
トラックマークは録音時に自動的に記録されます。
トラックマークを入れることで、1 枚の MD に最大 254 曲番まで記録することができます。

■ TOC（トック）（Table of Contents）
MD には、音声信号を記録する領域とは別に、曲数や再生時間などを記録する領域があり、そこに書き込まれた内容を TOC 情報といいます。

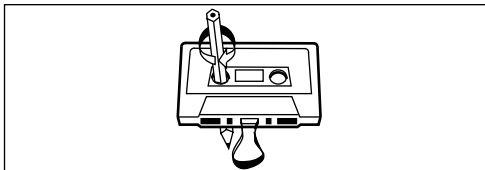
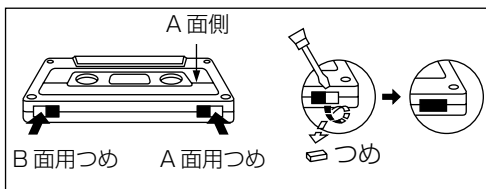
■ UTOC（ユートック）（User Table of Contents）
利用者が自由に書き換えられる TOC です。入力した文字や、編集した結果などを記録します。
MD に UTOC 情報が書き込まれているとき、“UTOC Writing” と表示され注意を促します。

■ MARKING（マーキング）
録音中にトラックマークを記録することです。
本機が曲の変わり目を判断してマーキングします。

テープについて

■ 100 分を超えるテープ
テープが薄いため、こきざみな走行、停止、早送り、巻戻しをくり返さないでください。（回転部に巻き込まれることがあります）

■ エンドレステープについて
使用方法を誤ると、テープが回転部に巻き込まれます。必ずテープについている使用説明をお読みください。

■ テープのたるみは巻き取ってください
テープに傷がついたり、切れたりする原因になります。

■ 録音したテープを誤って消さないために
ドライバーなどで、つめを折り取ってください。

もう一度録音するにはセロハンテープなどを貼ってください。

■ 録音を消して無音テープを作るには
① 電源を入れ、録音済みテープを入れる。
② ［ ■ ］を押して、“TAPE” を選ぶ。
③ 本機の［テープ ●/❚❚ ］を押す。

取扱上のお願い

テープが取り出せなくなったり、音質が損なわれる場合がありますので、次のことをお守りください。
- テープに付属している以外のシール（特に厚みのあるシール）を貼らない
- 指定以外の場所にシールを貼らない

保管（CD/MD/テープ）

■ 次のような場所に置かない
- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房器具の熱が直接当たる場所

お手入れ

■本機が汚れたら
柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■CD・MDを良い音でお楽しみいただくために
別売りの専用クリーナーで時々清掃されることをおすすめします。
推奨品：
CD レンズクリーナー（品番 RP-CL510）
MD レンズクリーナー（品番 RP-CL310）
MD 録音ヘッドクリーナー（品番 RP-CL320）

■テープを良い音でお楽しみいただくために
定期的に市販のクリーニングテープを使って、清掃されることをおすすめします。

メモリーの保持について

■電源コードで使うとき
電源プラグを3分間以上、コンセントに差し込んでいれば、停電したり、電源プラグをコンセントから抜いても、下記のように、本機は設定したメモリー内容を保持します。
保持期間を超えて、停電したり、電源プラグをコンセントから抜いておくと、メモリー内容は消えます。
メモリー内容が消えたときは、もう一度設定してください。

メモリー内容を消したくない場合は、電源「切」時も、電源プラグをコンセントに差し込んでおくことをおすすめします。（電源スタンバイ時の消費電力：約0.1 W）

●約74分間、保持する項目

- 現在時刻
- タイマー設定

●約1週間、保持する項目

- タイマー時刻
- 放送局の設定（エリアバンク）
- 放送局の設定（マニュアルメモリー）
- MDのプログラム内容
- デモ機能の設定
- 音質の設定、など

■本機を乾電池で使うとき
乾電池が消耗するまで設定したメモリー内容を保持します。電源コードは本機から必ず抜いてください。

著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

お問合せ先：（社）私的録音補償金管理協会
☎ 03-5353-0336

- 放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音したMDやテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

本部	☎(03) 3481-2121	静岡支部	☎(054) 254-2621
北海道支部	☎(011) 221-5088	中部支部	☎(052) 583-7590
盛岡支部	☎(019) 652-3201	北陸支部	☎(076) 221-3602
仙台支部	☎(022) 264-2266	京都支部	☎(075) 251-0134
長野支部	☎(026) 225-7111	大阪支部	☎(06) 6244-0351
大宮支部	☎(048) 643-5461	神戸支部	☎(078) 322-0561
上野支部	☎(03) 3832-1033	中国支部	☎(082) 249-6362
東京支部	☎(03) 3562-4455	四国支部	☎(087) 821-9191
西東京支部	☎(03) 3232-8301	九州支部	☎(092) 441-2285
東京イベントコンサート支部	☎(03) 5286-1671	鹿児島支部	☎(099) 224-6211
立川支部	☎(042) 529-1500	那覇支部	☎(098) 863-1228
横浜支部	☎(045) 662-6551		

音のエチケット
楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**
（下記は、絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

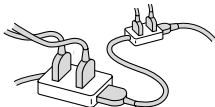
電源コードについて

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

［傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。］

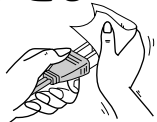
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- 抜くときは､プラグを持ち、まっすぐ抜いてください。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

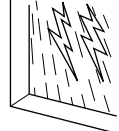
電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。
- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

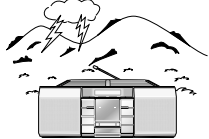
ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

雷について

雷が鳴ったら、アンテナ・機器やプラグに触れない

接触禁止
感電の恐れがあります。

雷が鳴ったら､屋外で使わない

落雷の恐れがあります。
- 使用しているときは、すぐに機器から離れてください。

もし異常が起こったら

異常があったときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

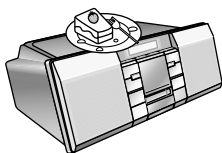
- 機器内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき
- 煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 警告

ご使用について

機器の上にものを載せない

ものが内部に入り込み、感電、火災や故障の原因になります。

機器内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたり濡らしたりしない

ショートや発熱により火災や感電の原因になります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

分解、改造したりしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

⚠ 注意

設置について

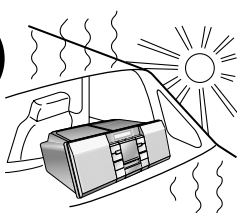
放熱を妨げない

内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。

- 後面の放熱孔をふさがないよう、ご注意ください。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

- 夏の閉め切った自動車内や直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

不安定な場所に置かない

- **上に大きなもの、重いものを載せない**
- **高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない**

機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

電池について

電池は誤った使い方をしない

- **⊕と⊖は逆に入れない**
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水などの液体、火の中へ入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- **乾電池の代用として充電式電池を使わない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**
- **長期間使用しないときは、取り出しておく**

取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。

- 万一液もれが起こったら販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

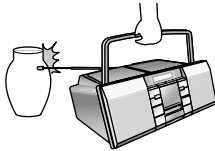
⚠ 注意

ご使用について

ひび割れ、変形したディスクやハート型などの特殊形状のディスクは使わない

高速回転しますので、飛び散ったり、飛び出したりしてけがの原因になることがあります。

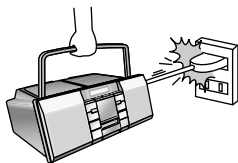
- 接着剤などで補修したディスクも同様に危険ですので使用しないでください。

アンテナを伸ばしたまま持ち運ばない

アンテナがものに引っかかったり、当たったりして、けがの原因になることがあります。

機器に乗らない

破損して、けがの原因になることがあります。

- 特にお子様にはご注意ください。

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

電源プラグの抜き差しは電源プラグを持つ

コードを引っ張るとコードが傷ついたり、ちぎれたりして、火災や感電の原因になることがあります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

主な仕様

ラジオ

受信周波数
FM ：76.0 ～ 90.0 MHz（TV 1ch ～ 3ch）
AM ：522 ～ 1629 kHz（9 kHz ステップ）

MD デッキ

記録方式　：磁界変調オーバーライト方式
読み取り方式　：半導体レーザー（波長 780 nm）による非接触光学式
サンプリング周波数　：44.1 kHz
圧縮/伸張方式　：ATRAC/ATRAC 3（MD**LP**）方式
チャンネル数　：2 チャンネル（ステレオ）
ワウ・フラッター　：測定限界以下

テープレコーダー

トラック方式　：ステレオ
録音方式　：交流バイアス
消去方式　：交流消去
モニター方式　：バリアブルサウンドモニター

CD プレーヤー

サンプリング周波数　：44.1 kHz
量子化　：16 ビット直線
光源　：半導体レーザー（波長 780 nm）
チャンネル数　：2 チャンネル（ステレオ）
ワウ・フラッター　：測定限界以下
DA コンバーター　：MASH（1 ビット DAC）

リモコン

電源　：DC3 V（単 3 形乾電池 2 個）
最大外形寸法（幅 × 高さ × 奥行）
：49 mm × 145 mm × 25 mm
質量　：約 92 g（乾電池含む）

共通

スピーカー　：8 cm/6 Ω フルレンジ 2 個
入力端子
MIX MIC　：モノラルミニ（M3）
（適合マイクインピーダンス 200 ～ 600 Ω）
出力端子
PHONES　：ステレオミニ（M3）
（適合ヘッドホンインピーダンス 16 ～ 64 Ω）
実用最大出力（AC 時）：6 W（JEITA）
乾電池持続時間：

	CD	MD	テープ	ラジオ
MDへの録音	約 3 時間 30 分		約 2 時間 30 分	約 5 時間
連続演奏	約 4 時間	約 5 時間	約 5 時間	約 7 時間

（別売りパナソニック乾電池アルカリ ≪金≫ LR14G 使用時）

電源
電灯線　：AC100 V、50/60 Hz
乾電池　：DC12 V（単 2 形アルカリ乾電池 8 個）
・乾電池の代用として充電式電池を使わない。
消費電力　：26 W（AC 時）
最大外形寸法（幅 × 高さ × 奥行）
：430 mm × 156 mm × 275 mm（JEITA）
質量　：約 4.5 kg（乾電池なし）
約 4.9 kg（乾電池を含む）

電源スタンバイ時の消費電力：約 0.1 W（AC 時）

注）・この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
・乾電池持続時間は、使用条件によって短くなる場合があります。

ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

こんな表示が出たら

表　示	意味または処理
ADJUST CLOCK	時計を合わせてください。
ADJUST TIMER	タイマーの時刻を設定してください。
BLANK DISC	MD に一曲も録音されていません。聞くときは録音済みの MD を入れてください。 録音はそのまま行えます。
CAN NOT EDIT	再生中のタイトル入力後、MD 編集はできません。プログラム、ランダム、グループ設定中はMD の編集やタイトル入力できません。各設定を解除してから編集操作を行ってください。
CAN'T MEMORY	コピー元の MD タイトルが記憶できていません。再度操作してください。
CHANGE TIME	タイマーの開始時刻と終了時刻が同時刻になっています。終了時刻を変えてください。
DISC FULL	MD の空き時間が足りません。
DISC、PROTECTED （交互に表示）	MD 誤消去防止状態になっています。 録音・編集するには、MD の誤消去防止つまみを閉じた状態にしてください。
LOAD ERROR、 PRESS EJECT（交互に表示）	[▲ MD] を押して、MD を取り出してください。挿入方向とシャッターが閉じていることを確認して、再度入れてください。
EMERGENCY、STOP（交互に表示）	録音中に異常が発生しました。MD を入れ直してください。
ERROR	操作が違います。
GROUP DATA FULL	MD の領域が足りません。タイトルを短くするか、消去してください。
NOT COMBINE	コンバインできません。（MD の記録方式上の制約です。）
NOT DIVIDE	ディバイドできません。（MD の記録方式上の制約です。）
NOT FIND	タイトルサーチで検索したが該当する曲が見つかっていません。もう 1 度 [タイトルサーチ] を押して別の曲名を入力して検索してください。
PlaybackDISC	再生専用 MD のため、録音や編集はできません。
REC ERROR	録音中に異常が発生しました。表示中は、音声は録音されていません。
SCMS、CAN NOT COPY （交互に表示）	ビデオ CD、CD-ROM、コピー禁止が設定されたディスクなどからは録音できません。SCMS（ ☞ 48 ページ）が記録された CD-R や CD-RW から MD に録音しようとしました。デジタルでは録音できませんので録音の設定を"ANALOG REC?"（ ☞ 22 ページ）に切り換えてください。
SELECT OVER	これ以上イレースするトラックを選べません。
TAPE、PROTECTED （交互に表示）	テープのつめが折れているため録音できません。 録音するには、テープのつめの部分にセロハンテープなどを貼ってください。
TITLE FULL（約 2 秒点灯）	タイトルを、本機にこれ以上記憶できません。 各トラックのタイトル入力は約 100 文字までです。
TITLE OVER	タイトルを書き込むだけの空きがない状態でまとめてタイトルを入力しようとしました。録音または再生が終了して "UTOC Writing" の点滅後に続きを入力してください。
TOC ERROR	MD の読み取りに問題のある可能性があります。 電源を切/入したあと、MD を入れ直してください。
	MD に異常があるか、損傷しています。MD を取り替えてください。
TOC Reading	CD/MD の情報を読み込み中です。この間は操作できません。
TRACK NUMBER、 NOT EQUAL（交互に表示）	曲数の違う MD へはタイトルステーション機能は使えません。
TRACKxxx、PROTECTED、 ERASExx??（交互に表示）	曲にプロテクト（保護）がかかっています。消去していいか確認してください。 消去することはできます。
UTOC FULL	MD に情報を書き込める余白がありません。 不要なタイトルや曲を消去してください。（UTOC FULL の状態ではディバイドもできません。）
U01	乾電池が消耗しています。新しい乾電池に交換してください。
U02	電源プラグが外れています。コンセントに差し込んでください。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

	こんなときは	ここをご確認ください	処理	参照ページ
表示部	電源を切っているのに表示部が点灯して、次々と変化する。	デモ機能が働いています。	デモ機能を「切」にしてください。時計を合わせてください。	5、6
システム全体に共通	音が出ない。	音量が最小になっていませんか。	音量を調節してください。	9
		ヘッドホンを接続していませんか。	ヘッドホンをはずしてください。	46
	設定時刻になってもタイマーが動作しない。	電源が入っていませんか。	おめざめ、留守録タイマーは電源を切らないと動作しません。	42、44
		“⏲PLAY、⏲REC、SLEEP、ALARM”が表示していますか。	おめざめ、留守録、おやすみ、アラームの各タイマーのタイマー実行設定を行って表示させてください。	42～45
		本機を乾電池でご使用のときはおめざめ、留守録タイマーは使えません。	電源コードでお使いください。	5
	電源「切」時に時計が表示されない。		時計を合わせてください。	6
		乾電池使用時は表示されません。	電源コードでお使いください。	5
	記憶させた放送局、タイマー予約、時刻が消えた。	電源プラグを長期間抜いていませんか。	再度設定してください。 メモリー内容を消したくない場合は、電源「切」時も、電源プラグをコンセントに差し込んでおくことをおすすめします。	50
	表示が出ない。	電源コードを正しく接続していますか。	電源プラグをコンセントから抜いて、再度差し込んでください。	5
	乾電池で動作しない。	本機に電源コードが接続されていませんか。	乾電池で使うときは、電源コードを本機から抜いてください。	5
		本機の乾電池の⊕、⊖が逆になっていませんか。	⊕、⊖を正しく入れてください。	
CD	再生できない。 CDを入れても、曲数などが表示されない。	CDが裏表逆になっていませんか。	ラベル面を上にして入れてください。	8
		規格外のCDを使用していませんか。	規格に合致したCDと取り換えてください。	48
		寒い所から急に暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。約1時間待ってから使用してください。	–
	特定の箇所が再生できない。 CDの音がとぶ。 CDを録音すると音がとぶ。	CDの裏面に傷や指紋が付いていませんか。	指紋は柔らかい布でふいてください。 傷が付いている場合は、CDを交換してください。	48
	高速録音すると本機が振動する。		故障ではありません。 CDの種類によっては、本機が振動する場合があります。	–
ラジオ	うまく受信できない。 雑音やひずみが多い。	FMホイップアンテナを調節しましたか。	FMホイップアンテナの長さや向きを変えてください。	19
		AMループアンテナを接続していますか。	AMループアンテナの向きや位置を変えてください。 AMループアンテナを本機から離してください。	4、5、19
		テレビ、ビデオ、BSチューナーなどの電源が入っていませんか。	本機と各機器との距離を離すか、各機器の電源を切ってください。	–
		送信所が遠くありませんか。	送信所が遠い場合、または鉄筋ビルの中などでは電波が弱くなります。窓際など、条件の良い場所に設置してください。	19
		アンテナのコードが電源コードに接近していませんか。	アンテナのコードと電源コードを離してください。	–
	テレビ放送が受信できない。	ラジオがAMバンドになっていませんか。	テレビは1～3チャンネルの音声のみFMバンドで受信可能です。	19

故障かな!? (つづき)

	こんなときは	ここをご確認ください	処理	参照ページ
テープ	音が途切れる、雑音が多い。	ヘッド部が汚れていませんか。	ヘッド部を清掃してください。	50
	録音状態にならない。	録音用のつめを折っていませんか。	つめを折った部分にセロハンテープなどを貼ってください。	49
MD	再生または録音できない。	寒い所から急に暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。約1時間待ってから使用してください。	–
		再生専用のMDに録音しようとしていませんか。	録音用MDを入れてください。	48
		誤消去防止状態になっていませんか。	MDの誤消去防止つまみを閉じてください。	
		すでに録音された時間または曲数(上限254曲)がいっぱいになっていませんか。	不要な曲があれば消してから録音してください。(MDは、たとえ1秒の録音でも、約2秒分の領域を使うため、短い曲を多く録音すると、再生側の時間表示より録音時間が少し長くなります。)	36
	MDを入れても曲数などが表示されない。	MD以外のモード(CD、ラジオなど)になっていませんか。	[■]を押して"MD"に切り換えてください。	–
		MDが破損しているかもしれません。	別のMDで確認してみてください。	
	MDのタイトルや曲名が出なかったり、表示が途切れたりする。	MDに記録できる文字数を超えていませんか。(文字数には制限があります。)	文字数の少ないタイトルにつけ直してください。	38、41
	MDを入れても自動的に引き込まれない。また、入れるのに力がいる。	排出動作中のMDに、無理な力を加えませんでしたか。	電源を入れ直してください。	–
	コンバインやディバイドができない。また、曲を消しても残り時間が増えない。	録音・消去をくり返していませんか。	録音データがしだいに細かく分断されていくため左記のような状態になることがあります。(MDの記録方式上の制約です。)この時サーチを行うと、音が途切れたりすることがあります。	–
		異なるモード(LP MODE OFF/LP2/LP4/モノラル長時間)で録音された曲をつなごうとしていませんか。	異なるモード(LP MODE OFF/LP2/LP4/モノラル長時間)で録音された曲は、1曲につなげることはできません。	–
	MDの操作ができない。	一時的に内部回路で不具合が起きた可能性があります。	電源を切/入してから操作してください。異常が再発するときは販売店にご相談ください。	–
	ディスクタイトルの表示がおかしい。	グループ機能未対応機種でタイトル入力や編集作業を行いませんでしたか。	本機で入力をやり直してください。	38
	ディスクタイトルが正しく表示されない。		本機でグループ編集を行ったMDを、グループ編集未対応の機種で再生するとディスクタイトルが正しく表示されません。	–
	LP4モードで録音された曲で若干の音漏れが生じる。		LP4モードで録音された曲をつないだり、分けたりすると、つないだ部分や分けた部分で左右のチャンネル間に若干の音漏れを生じる場合があります。	
リモコン	リモコン操作ができない。	乾電池の⊕、⊖が逆になっていませんか。	⊕、⊖を正しく入れてください。	4
		乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池と交換してください。	
		本機を乾電池でご使用のときは、リモコンで電源を入れることはできません。	本機で操作してください。	–

メモリーのリセット(初期化)

次のようなときは、右の手順で、メモリーをリセット(初期化)してください。

- ボタンを押しても何も反応しない。
- メモリー内容を消して、再度設定したい。

● メモリー内容をリセット(初期化)するには

① 本体の電池をすべて取り出し、電源プラグを、コンセントから抜く
② 本体の **[電源]** を押したまま
③ 電源プラグをコンセントに差し込み
表示部に"-------------"が表示されたら
④ **[電源]** を離す

● メモリーをリセット(初期化)すると

- 高速録音は約74分間経過しないとできません。
- 時計、放送局などは再度設定が必要です。

デモ機能動作中に
“DEMO OFF”と表示されるまで
押したままにする

DEMO OFF

押すたびに
DEMO OFF（切） ⇄ DEMO ON（入）

お知らせ

- 本機を乾電池で使うときは、デモ機能は働きません。デモ機能表示を確認するには、電源「入」時に上記の手順を行って“DEMO ON”にしてください。
- 本機の時計を合わせる（☞6ページ）と、デモ機能は自動的に「切」になります。

Q ＆ A（よくあるご質問）

	Q（質問）	A（回答）	参照ページ
MD	長時間ステレオ録音をしたい	LPモード2倍／4倍の設定をしてから録音します。	23
MD	MDの残り時間を知りたい	MD停止中にリモコンの[表示切換]を数回押して“MD Rem”を表示させます。	47
MD	録音した曲に上書き録音したい	MDは、テープと異なり、上書き録音はできません。 MDの残り時間が少ないときは、いらない曲をイレースで消してから録音してください。	36
MD	録音済みMDの続きに録音したい	自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、そのまま録音してください。頭出しは不要です。	—
MD	録音中に音量や音質を変えたらどうなる？	録音中に音量や音質を調節して、スピーカーから出る音を変えても、録音される音には影響しません。 録音レベルは自動的に設定されます。	—
MD	LP2、LP4で録音されたMDはどのプレーヤーでも再生できる？	MD**LP**に対応していないプレーヤーでは再生できません。 曲のタイトルの先頭に“LP:”と表示され、無音で再生されます。	—
MD	長時間ステレオ録音した曲の再生はどうやって切り換えるの？	録音された状態によって、自動的に切り換わります。	—
MD	LP2、LP4で録音されたMDは、音質が悪くなる？	LP4では、ごくまれに雑音が録音されることがあります。標準時間録音（LP MODE OFF）またはLP2録音をおすすめします。	22
MD	高速録音すると音質は悪くなる？	高速録音しても音質には影響ありません。	—
MD	ディスクタイトルが正しく表示されない	本機でグループ編集を行ったMDを、グループ編集未対応の機種で再生するとディスクタイトルが正しく表示されません。	—
その他	引っ越しするのだが、そのまま使える？	東日本・西日本に関係なく使えます。 ラジオのエリアバンクを設定し直してください。	20、21
その他	再生時の音質を変えたい	イコライザーの設定を変えてみるのも1つの方法です。	47

保証とアフターサービス

よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、このパーソナル MD システムの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

55 ～ 57 ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

● 保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
次の修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
製　品　名	パーソナル MD システム
品　番	RX-MDX85
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

松下電器産業株式会社および松下グループ関係会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記のとおり、お取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、ナショナル パナソニック製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

ナショナル パナソニック

修 理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。
  呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北 海 道 地 区

地域	住所	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東 北 地 区

地域	住所	電話
青森	青森市第二問屋町3-7-10	☎(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首 都 圏 地 区

地域	住所	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	☎(027)352-1109
茨城	つくば市花畑2丁目8-1	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中 部 地 区

地域	住所	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近 畿 地 区

地域	住所	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中 国 地 区

地域	住所	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎(083)986-4050

四 国 地 区

地域	住所	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九 州 地 区

地域	住所	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

沖 縄 地 区

地域	住所	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0105

さくいん

あ

アナログ録音…22
アラームタイマー…44
アンテナ…4～5, 18
イコライザー…47
イントロスキャン…12
エリアバンク…20
オートオフ…43
オートチューニング…18
オールイレース…36
オールリピート…14
追っかけ録音…23, 26
おめざめタイマー…42
おやすみタイマー…42
音質・音場…47
音量バランス（ポジションセレクター）..47

か

確認音（ビープトーン）…24, 25
グループタイトル…38
グループプレイ…12
グループを作る…34
高速録音…22, 24
コンバイン…34

さ

サウンドバーチャライザー…47
サーチ…9, 11
スキップ…8, 10

た

タイトル…38, 41
タイトルサーチ…12
タイトルステーション…40
ダイレクトプレイ…9, 11
ディスクタイトル…38
ディスプレイ…47
ディバイド…34
テープカウンター…16, 27, 33
デモ機能…5
時計合わせ…6
トラックイレース…36
トラックタイトル…38
トラックマーク…49
トラックリピート…14

な

ねらい録り…24, 28

は

表示切換（ディスプレイ）…47
ビープトーン…24, 25
ブランクスキップ…17
プログラムプレイ…14
プログラムリピート…15
プログラム録音…24, 28
ヘッドホン…46
ポジションセレクター…47

ま

マイク…46
マイクミキシング…46
マニュアルメモリー…20
丸録り…24, 28
ムーブ…36
メモリー（保持／リセット）…50, 56
文字入力のしかた…41

ら

ランダムプレイ…14
リピートプレイ…14
リモコン…4, 7
留守録タイマー…44
録音モード…31, 32

わ

ワンタッチプレイ…9, 11, 16

数字・アルファベット

1-REC…24, 28
AUTO REC…24, 28
LP モード…22
MANUAL REC…25, 29
MD**LP**
（長時間ステレオ録音／再生）…10, 22
SCMS…22, 48
TOC…49
TPS…17
UTOC…49

Panasonic パーソナル MD システム　RX-MDX85　取扱説明書

愛情点検

長年ご使用のパーソナル MD システムの点検を!

こんな症状はありませんか	● 煙が出たり、異常なにおいや音がする ● 音が出ないことがある ● 正常に動作しないことがある ● 商品に破損した部分がある ● その他の異常や故障がある

このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

販 売 店 名	☎（　　）　－	品　　番	RX-MDX85
お 客 様 ご 相 談 窓 口	☎（　　）　－	お買い上げ日	年　月　日

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ
〒571-8504 大阪府門真市松生町 1 番 15 号

RQT8007-1S
H1204YB1025